

令和2年度

第3回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

## 1 アンケートの概要

調査対象者	令和2年度 市政モニター 198人
調査期間	令和2年12月1日(火)～令和2年12月15日(火)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	⑦ 新居浜市民における運動意識について ⑧ 感染症予防と「新しい生活様式」について ⑨ 新居浜市の広報・広聴活動について

回答率

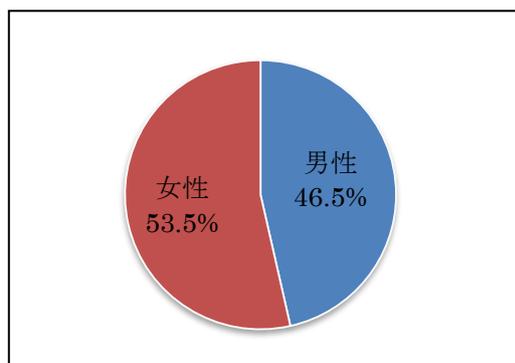
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
⑦	198	182	91.9%
⑧	198	178	89.9%
⑨	198	172	86.9%

## 2 市政モニター内訳 (※令和2年12月1日時点)

<性別>

(単位:人)

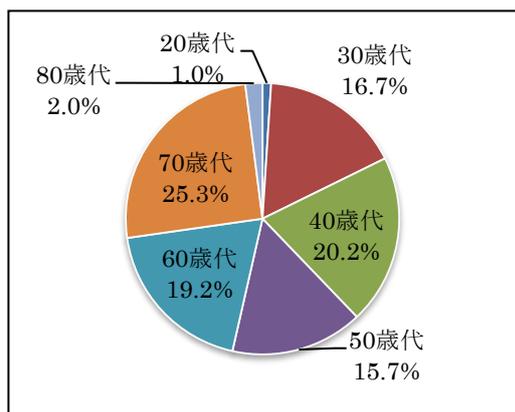
男性	92 (46.5%)
女性	106 (53.5%)
合計	198 (100.0%)



<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	0	2 (1.0%)
30歳代	7	26	33 (16.7%)
40歳代	12	28	40 (20.2%)
50歳代	12	19	31 (15.7%)
60歳代	18	20	38 (19.2%)
70歳代	37	13	50 (25.3%)
80歳以上	4	0	4 (2.0%)



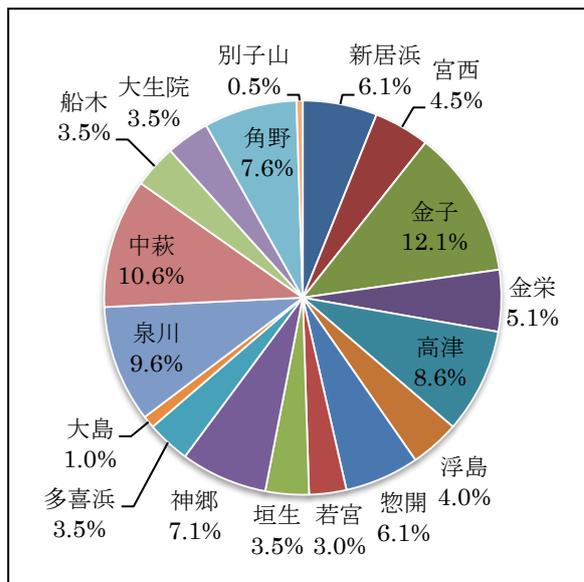
※年齢は令和2年4月1日時点

<居住地域別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	1	11	12 (6.1%)
宮西	2	7	9 (4.5%)
金子	12	12	24 (12.1%)

金栄	3	7	10 (5.1%)
高津	11	6	17 (8.6%)
浮島	6	2	8 (4.0%)
惣開	3	9	12 (6.1%)
若宮	2	4	6 (3.0%)
垣生	3	4	7 (3.5%)
神郷	6	8	14 (7.1%)
多喜浜	1	6	7 (3.5%)
大島	2	0	2 (1.0%)
泉川	12	7	19 (9.6%)
中萩	12	9	21 (10.6%)
船木	4	3	7 (3.5%)
大生院	3	4	7 (3.5%)
角野	8	7	15 (7.6%)
別子山	1	0	1 (0.5%)



〈回答方法 種別〉

(単位：人)

郵送モニター	103 (52.0%)
Eメールモニター	95 (48.0%)
合計	198 (100.0%)

〈選任方法 種別〉

(単位：人)

公民館推薦	93 (47.0%)
公募	105 (53.0%)
合計	198 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

### 3 調査結果

#### テーマ⑦ 新居浜市民における運動意識について

【調査趣旨】

新居浜市では、第2期総合戦略に掲げられている、健康で豊かな生活が送れるまちづくりを推進するため、新居浜市スポーツ推進計画に基づき、各種スポーツ事業をおこなっています。その中でも、市民（成人）の運動実施率の向上を目指しています。

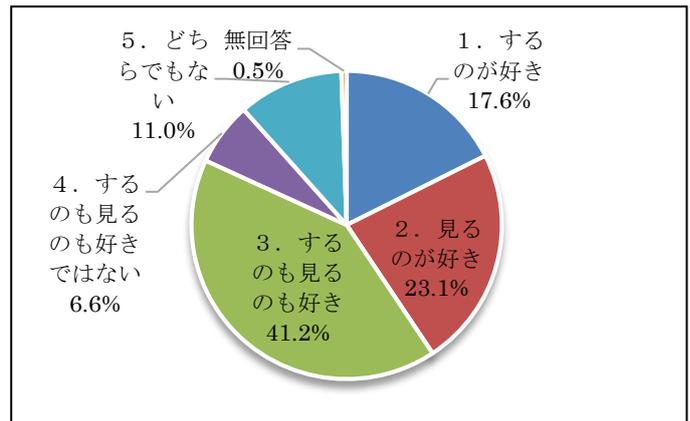
今回のアンケートでは、市民の皆さんの日頃の運動に対する意識や現状を調査し、前回のアンケート（R01実施）結果と比較することで、令和3年度に行われる新居浜市スポーツ推進計画の更新に活用していきたいと考えています。

(担当：スポーツ振興課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたはスポーツが好きですか？（1つ選択）

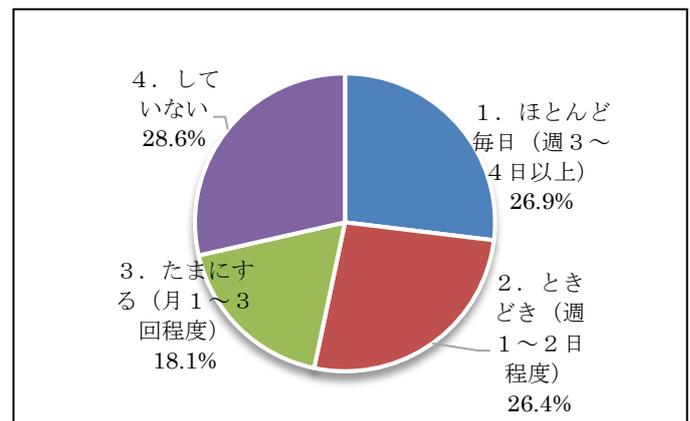
1. するのが好き	32人
2. 見るのが好き	42人
3. するのも見るのも好き	75人
4. するのも見るのも好きではない	12人
5. どちらでもない	20人
無回答	1人
合計	182人



「3. するのも見るのも好き」(41.2%)と答えた方が最も多く、次いで「2. 見るのが好き」(23.1%)、「1. するのが好き」(17.6%)、「5. どちらでもない」(11.0%)、「4. するのも見るのも好きではない」(6.6%)の順となっています。

問3. あなたは運動・スポーツをしていますか？（1つ選択）

1. ほとんど毎日（週3～4日以上）	49人
2. ときどき（週1～2日程度）	48人
3. たまにする（月1～3日程度）	33人
4. していない	52人
合計	182人

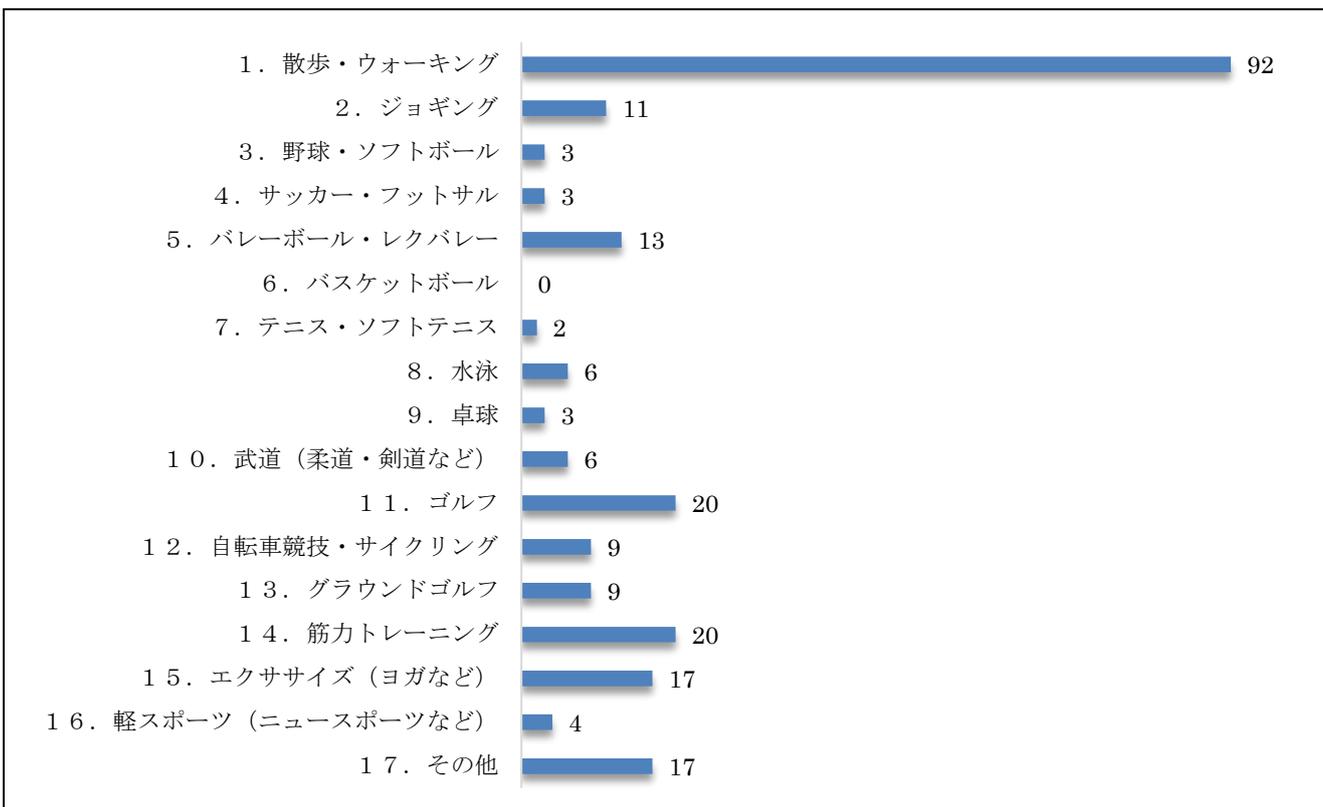


「1. ほとんど毎日」(26.9%)、「2. ときどき」(26.4%)、「3. たまにする」(18.1%)を合わせると、頻度に関わらず何らかの運動・スポーツをしている方は全体の7割以上となっています。

問4. 問3で「1. ほとんど毎日」「2. ときどき」「3. たまにする」と答えた方にお伺いします。  
あなたがこの1年間で取り組んでいるスポーツは何ですか？（複数選択）

1. 散歩・ウォーキング	92人
2. ジョギング	11人
3. 野球・ソフトボール	3人
4. サッカー・フットサル	3人
5. バレーボール・レクバレー	13人
6. バasketボール	0人
7. テニス・ソフトテニス	2人
8. 水泳	6人

9. 卓球	3人
10. 武道（柔道・剣道など）	6人
11. ゴルフ	20人
12. 自転車競技・サイクリング	9人
13. グラウンドゴルフ	9人
14. 筋力トレーニング	20人
15. エクササイズ（ヨガなど）	17人
16. 軽スポーツ（ニュースポーツなど）	4人
17. その他	17人



「1. 散歩・ウォーキング」（92人）が、この1年で取り組んでいるスポーツとして最も多く挙げられました。その他には、「11. ゴルフ」（20人）、「14. 筋力トレーニング」（20人）、「15. エクササイズ（ヨガなど）」（17人）などが多くなっています。

**問5. 問4で「17. その他」と答えた方にお伺いします。この1年で取り組んでいるスポーツを教えてください。（自由記入）**

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

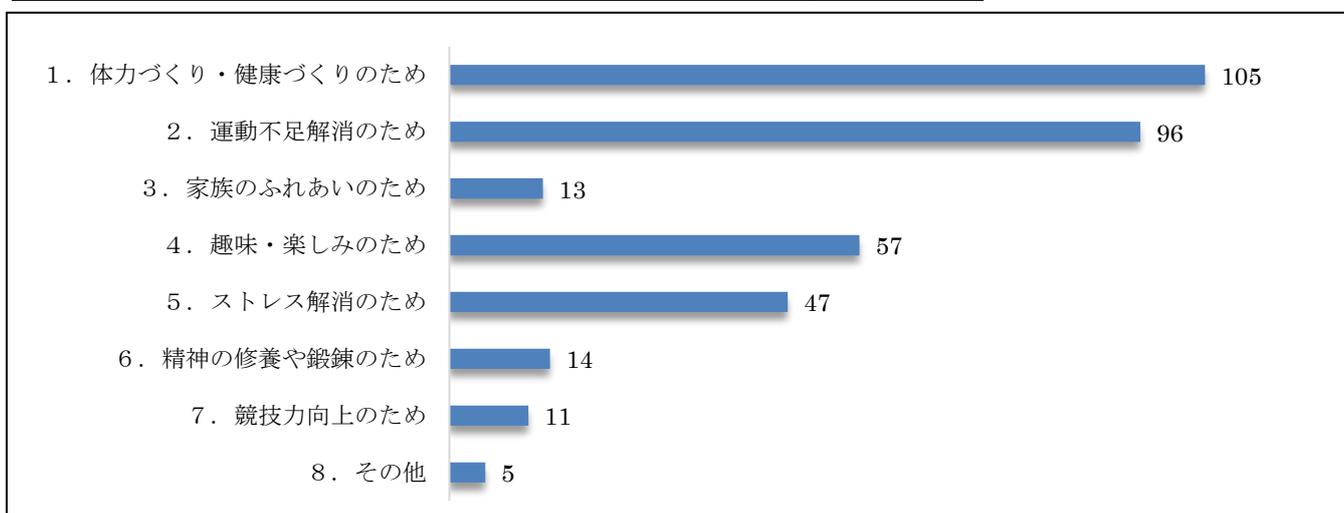
※（ ）内は同種意見の方の数を示しています。

- ・バドミントン（3）、バドミントンジュニアの練習に携わること。
- ・PPK体操（3）、ゆるゆる体操、3B体操、さわやか体操などの健康体操
- ・丹田呼吸法を使った体操、気功
- ・ラグビー（2）、タグラグビー指導

- ・登山
- ・フラダンス
- ・テコンドー
- ・SUP（スタンドアップパドルサーフィン）
- ・スラックライン
- ・吹矢
- ・よさこい
- ・通勤時に自転車に乗る程度

問6. 問3で「1. ほとんど毎日」「2. ときどき」「3. たまにする」と答えた方にお伺いします。スポーツに取り組んでいる理由は何ですか？（複数選択）

1. 体力づくり・健康づくりのため	105人
2. 運動不足解消のため	96人
3. 家族のふれあいのため	13人
4. 趣味・楽しみのため	57人
5. ストレス解消のため	47人
6. 精神の修養や鍛錬のため	14人
7. 競技力向上のため	11人
8. その他	5人

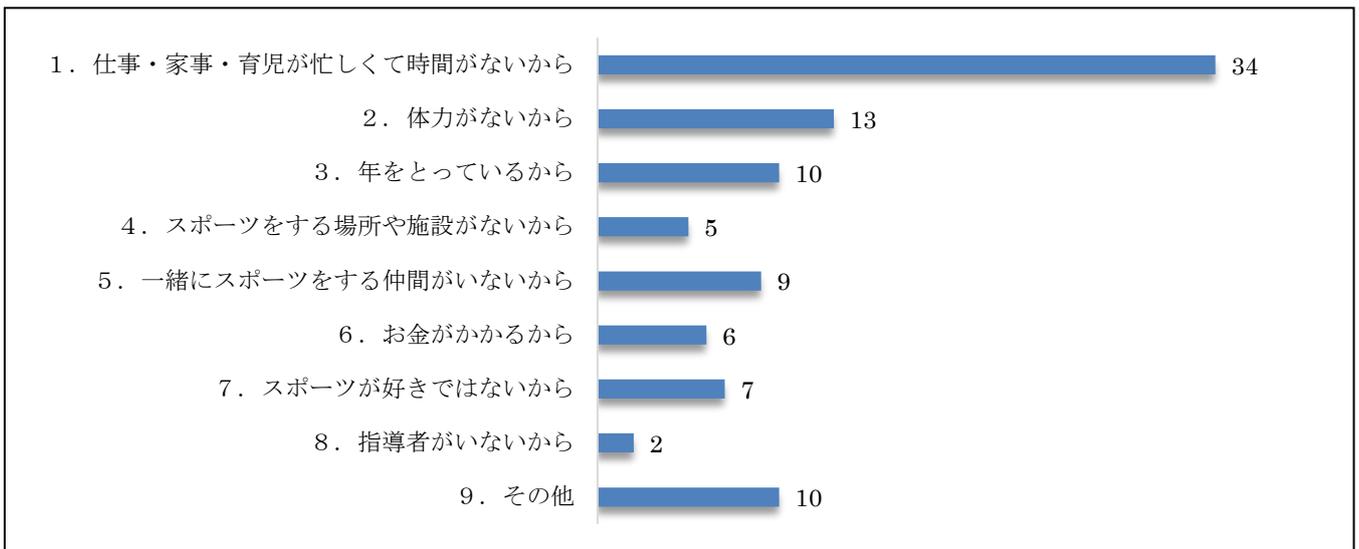


「1. 体力づくり・健康づくりのため」（105人）、「2. 運動不足解消のため」（96人）、「4. 趣味・楽しみのため」（57人）などが、スポーツに取り組んでいる理由として多く挙げられています。

問7. 問3で「4. していない」と答えた方にお伺いします。スポーツに取り組んでいない理由は何ですか？（複数選択）

1. 仕事・家事・育児が忙しくて時間がないから	34人
2. 体力がないから	13人

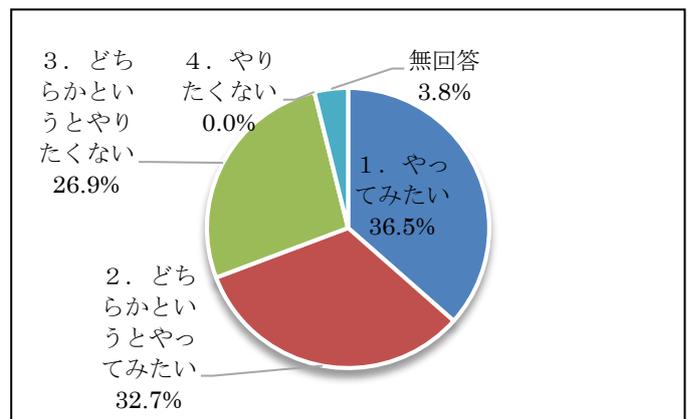
3. 年をとっているから	10人
4. スポーツをする場所や施設がないから	5人
5. 一緒にスポーツをする仲間がないから	9人
6. お金がかかるから	6人
7. スポーツが好きではないから	7人
8. 指導者がいないから	2人
9. その他	10人



「1. 仕事・家事・育児が忙しくて時間がないから」(34人)が、スポーツに取り組んでいない理由として最も多く挙げられました。その他には、「2. 体力がないから」(13人)、「3. 年をとっているから」(10人)などが多くなっています。

**問8. 問3で「4、していない」と答えた方にお伺いします。機会があれば、これから何かスポーツや運動をしてみたいと思いますか。(1つ選択)**

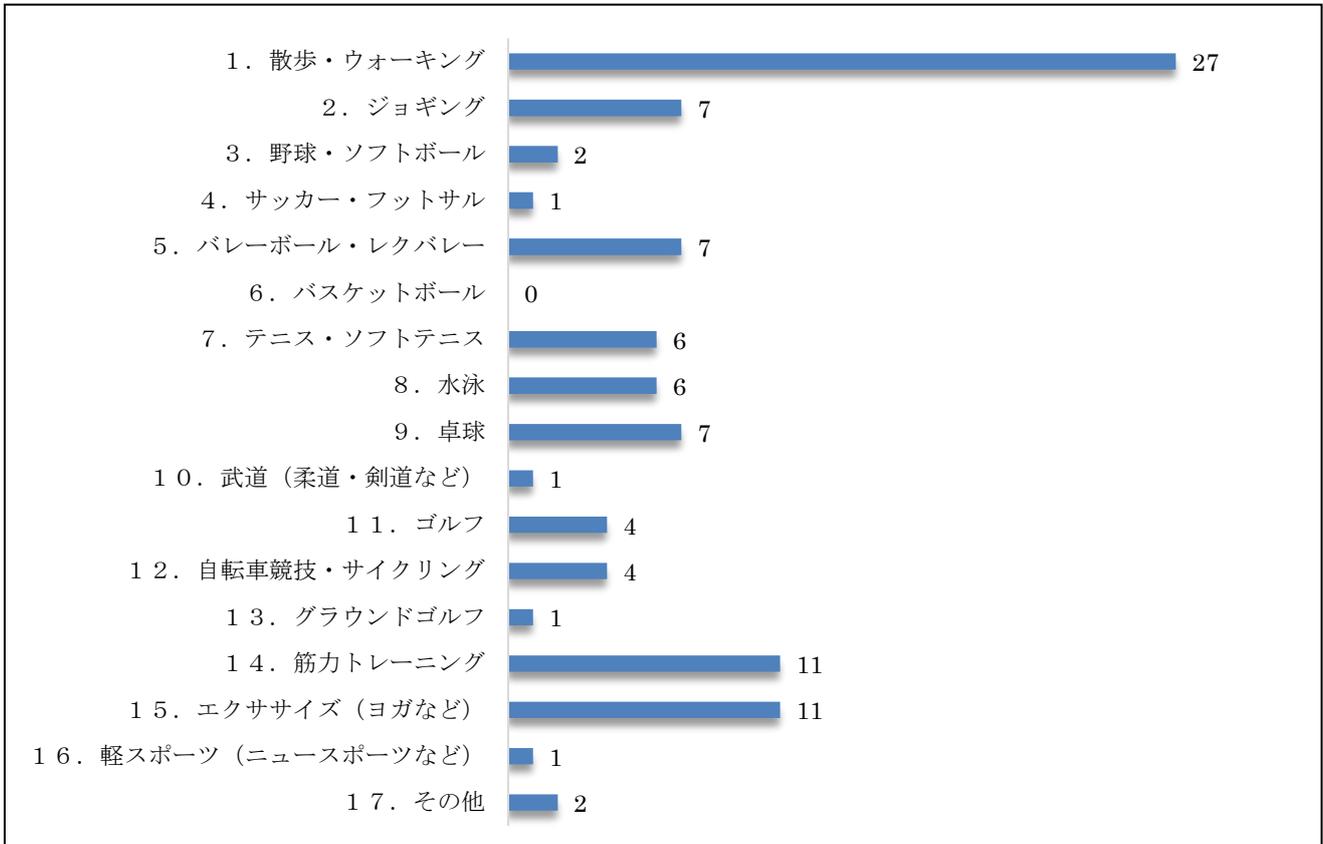
1. やってみたい	19人
2. どちらかというやってみたい	17人
3. どちらかというやりたくない	14人
4. やりたくない	0人
無回答	2人
合計	52人



「1. やってみたい」(36.5%)、「2. どちらかというやってみたい」(32.7%)を合わせると、運動・スポーツをしていないと答えた方のうち、約7割の方が、これから何かスポーツや運動をしてみたいと思っています。

問9. 問8で「1. やってみたい」「2. どちらかというやってみたい」と答えた方にお伺いします。今後取り組んでみたいスポーツや運動は何ですか？（複数選択）

1. 散歩・ウォーキング	27人
2. ジョギング	7人
3. 野球・ソフトボール	2人
4. サッカー・フットサル	1人
5. バレーボール・レクバレー	7人
6. バasketボール	0人
7. テニス・ソフトテニス	6人
8. 水泳	6人
9. 卓球	7人
10. 武道（柔道・剣道など）	1人
11. ゴルフ	4人
12. 自転車競技・サイクリング	4人
13. グラウンドゴルフ	1人
14. 筋力トレーニング	11人
15. エクササイズ（ヨガなど）	11人
16. 軽スポーツ（ニュースポーツなど）	1人
17. その他	2人



問4と同様、「1. 散歩・ウォーキング」（27人）が、今後取り組んでみたいスポーツや運動として最も多く挙げられました。その他には、「14. 筋力トレーニング」（11人）、「15. エクササイズ（ヨガなど）」（11人）、

「2. ジョギング」(7人)、「5. バレーボール・レクバレー」(7人)、「9. 卓球」(7人)などが多くなっています。

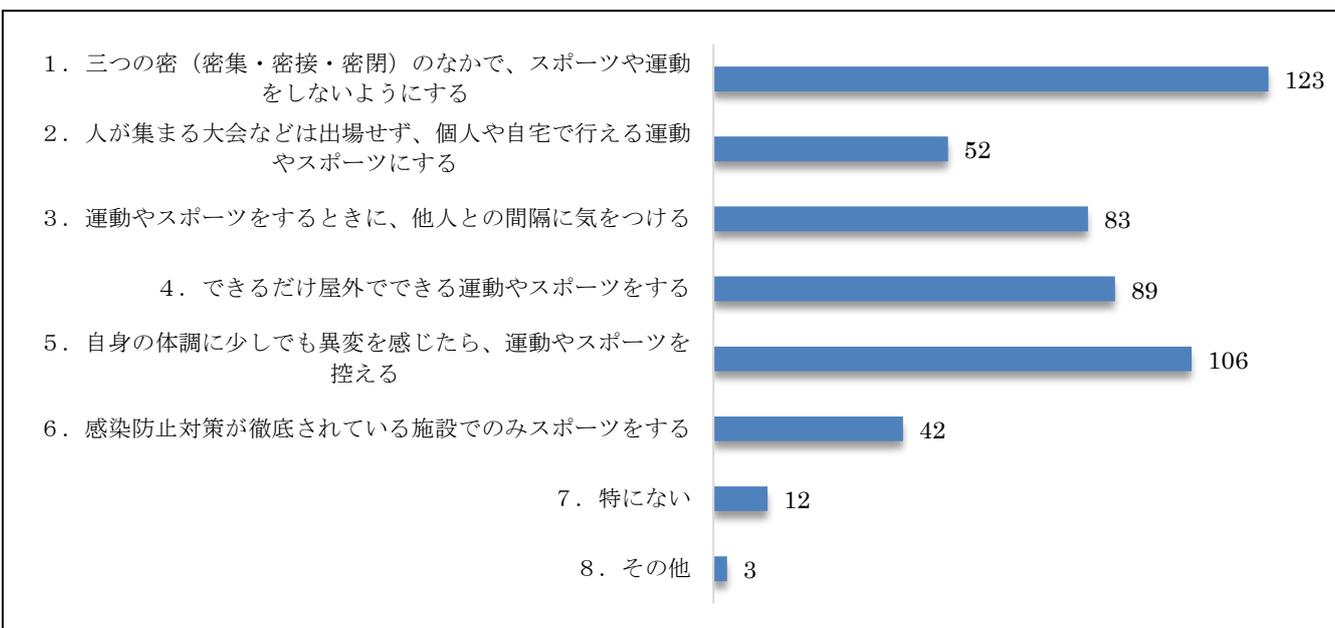
**問10. 問9で「17. その他」と答えた方にお伺いします。今後取り組んでみたいスポーツや運動は何ですか？(自由記入)**

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・ポールやバランスボールを使用した運動、スロートレーニング、ストレッチ
- ・登山、ハイキング

**問11. コロナ禍の新しい生活様式の中で今後あなたがスポーツをするときに気をつけたいことは何ですか？(複数選択)**

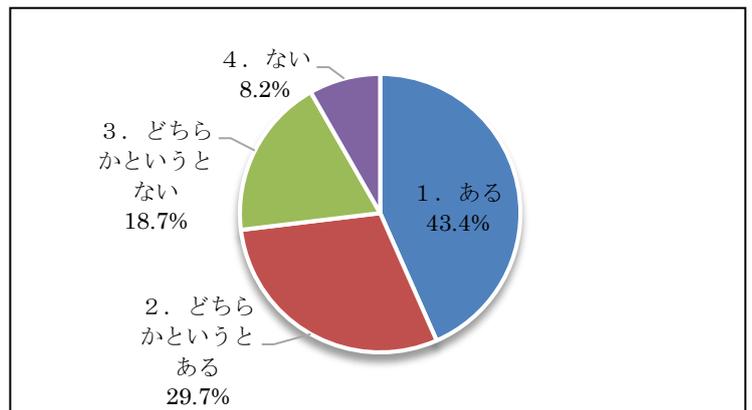
1. 三つの密(密集・密接・密閉)のなかで、スポーツや運動をしないようにする	123人
2. 人が集まる大会などは出場せず、個人や自宅で行える運動やスポーツをする	52人
3. 運動やスポーツをするときに、他人との間隔に気をつける	83人
4. できるだけ屋外でできる運動やスポーツをする	89人
5. 自身の体調に少しでも異変を感じたら、運動やスポーツを控える	106人
6. 感染防止対策が徹底されている施設でのみスポーツをする	42人
7. 特にない	12人
8. その他	3人



「1. 三つの密(密集・密接・密閉)のなかで、スポーツや運動をしないようにする」(123人)、「5. 自身の体調に少しでも異変を感じたら、運動やスポーツを控える」(106人)、「4. できるだけ屋外でできる運動やスポーツをする」(89人)などが、コロナ禍の新しい生活様式の中で今後スポーツをするときに気をつけたいこととして、多く挙げられました。

問12. 新型コロナウイルス感染拡大により、東京オリンピックが1年延期されましたが、あなたは東京オリンピックに関心がありますか？（1つ選択）

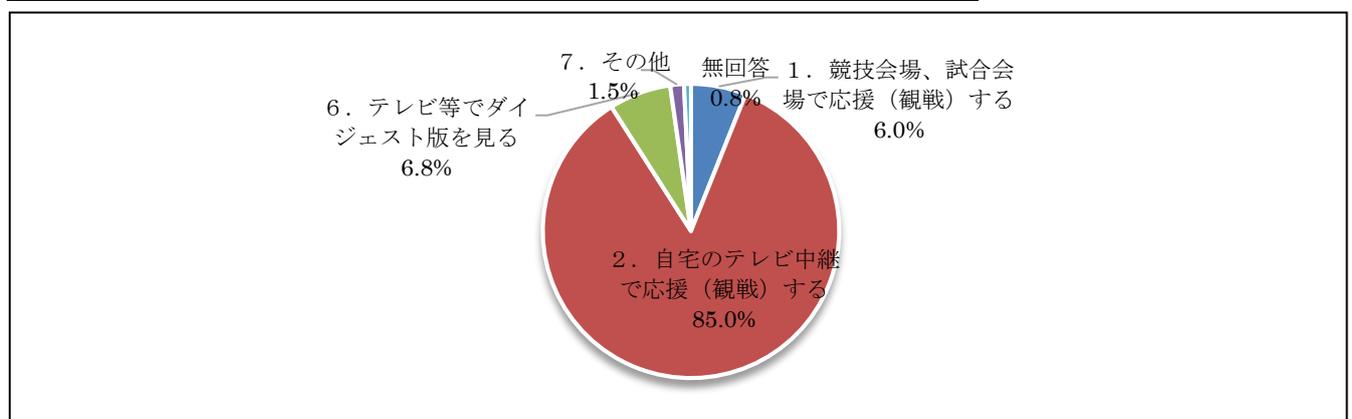
1. ある	79人
2. どちらかというところ	54人
3. どちらかというところはない	34人
4. ない	15人
合計	182人



「2. ある」(43.4%)と答えた方が最も多く、次いで「2. どちらかというところ」(29.7%)、「3. どちらかというところはない」(18.7%)、「4. ない」(8.2%)の順となっています。

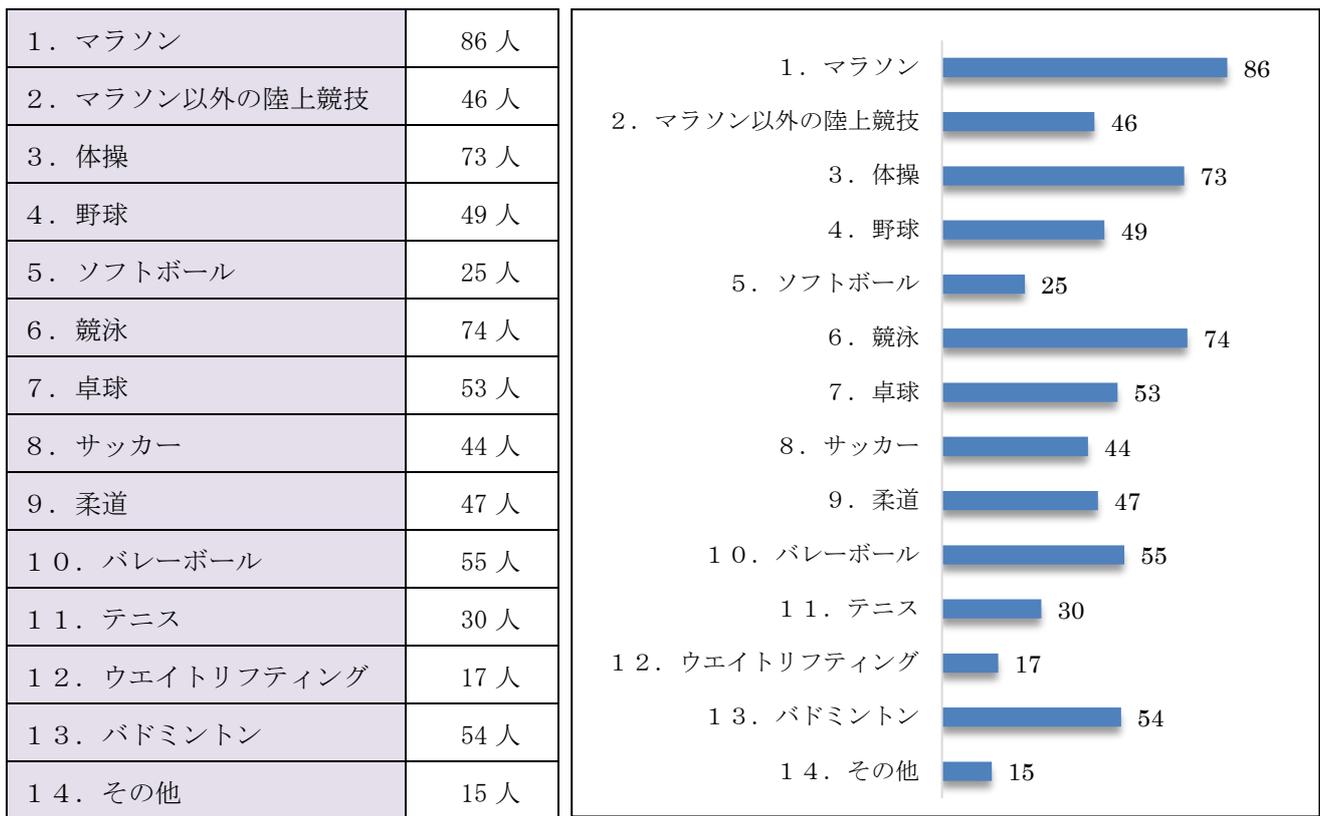
問13. 問12で「1. ある」「2. どちらかというところ」と答えた方にお伺いします。どのように東京オリンピックを楽しみますか？（複数選択）

1. 競技会場、試合会場で応援（観戦）する	8人
2. 自宅のテレビ中継で応援（観戦）する	113人
3. 大会ボランティアとして参加する	0人
4. 各地域でのパブリックビューイングに参加する	0人
5. スポーツバーや飲食店で応援（観戦）する	0人
6. テレビ等でダイジェスト版を見る	9人
7. その他	2人
無回答	1人
合計	133人



「2. 自宅のテレビ中継で応援（観戦）する」(85.0%)と答えた方が最も多く、全体の8割を超えています。「3. 大会ボランティアとして参加する」、「4. 各地域でのパブリックビューイングに参加する」、「5. スポーツバーや飲食店で応援（観戦）する」と答えた方はいませんでした。

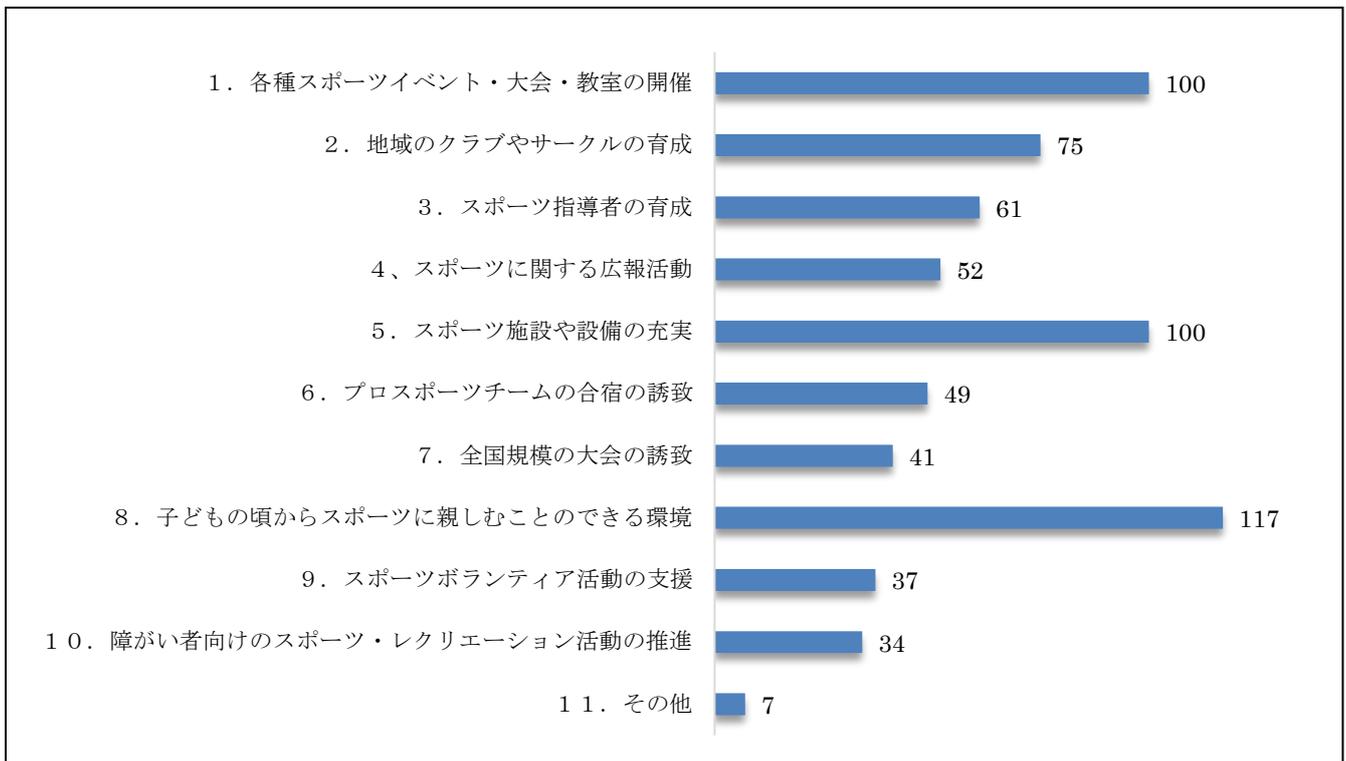
問14. 問12で「1. ある」「2. どちらかというところ」と答えた方にお伺いします。東京オリンピックのどの競技に関心がありますか？（複数選択）



「1. マラソン」(86人)、「6. 競泳」(74人)、「3. 体操」(73人)、「10. バレーボール」(55人)、「13. バドミントン」(54人)、「7. 卓球」(53人)などが、東京オリンピックの関心ある競技として多く挙げられています。

問15. 新居浜市をもっとスポーツが盛んなまちにするために何が必要だと思いますか？（複数選択）

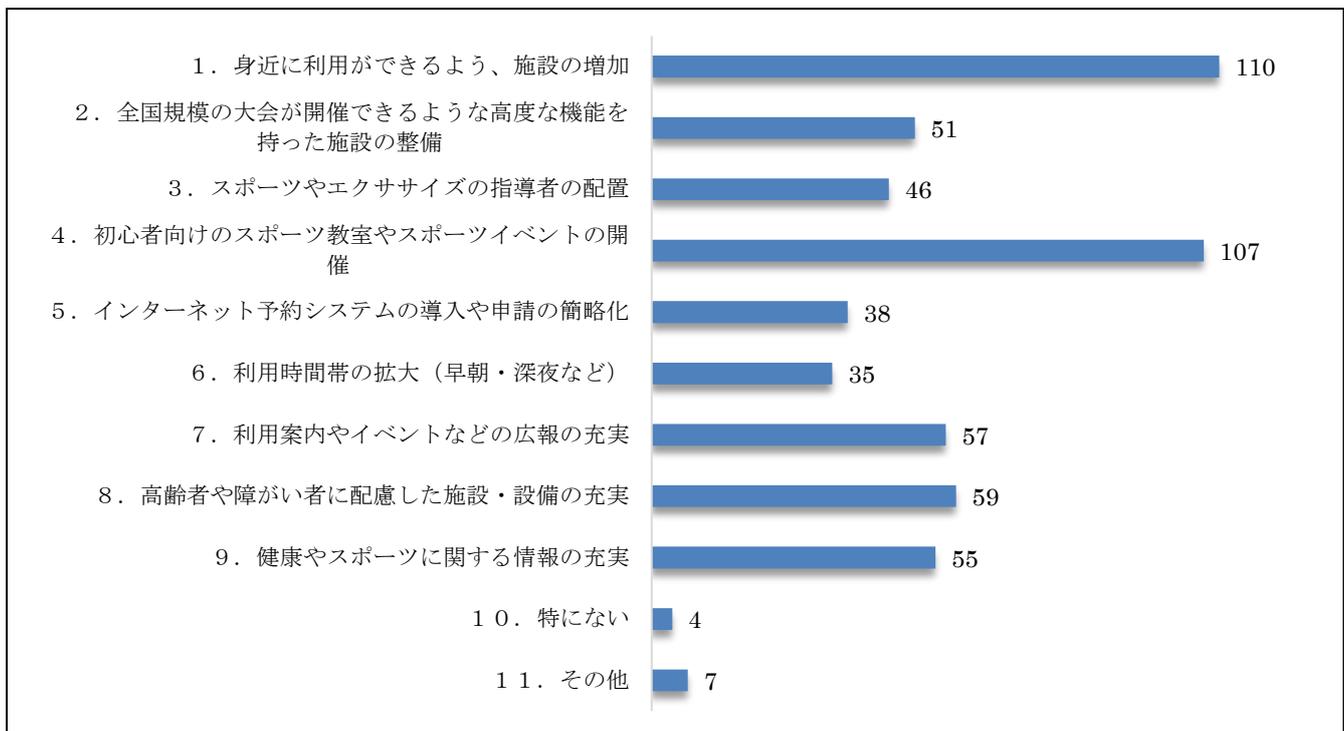
1. 各種スポーツイベント・大会・教室の開催	100人
2. 地域のクラブやサークルの育成	75人
3. スポーツ指導者の育成	61人
4. スポーツに関する広報活動	52人
5. スポーツ施設や設備の充実	100人
6. プロスポーツチームの合宿の誘致	49人
7. 全国規模の大会の誘致	41人
8. 子どもの頃からスポーツに親しむことのできる環境	117人
9. スポーツボランティア活動の支援	37人
10. 障がい者向けのスポーツ・レクリエーション活動の推進	34人
11. その他	7人



「8. 子どもの頃からスポーツに親しむことのできる環境」(117人)、「1. 各種スポーツイベント・大会・教室の開催」(100人)、「5. スポーツ施設や設備の充実」(100人)、「2. 地域のクラブやサークルの育成」(75人)、「3. スポーツ指導者の育成」(61人)などが、新居浜市をもっとスポーツが盛んなまちにするために必要なこととして多く挙げられています。

**問16. あなたは、新居浜市の公共スポーツ施設について、何を望みますか？(複数選択)**

1. 身近に利用ができるよう、施設の増加	110人
2. 全国規模の大会が開催できるような高度な機能を持った施設の整備	51人
3. スポーツやエクササイズの指導者の配置	46人
4. 初心者向けのスポーツ教室やスポーツイベントの開催	107人
5. インターネット予約システムの導入や申請の簡略化	38人
6. 利用時間帯の拡大(早朝・深夜など)	35人
7. 利用案内やイベントなどの広報の充実	57人
8. 高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の充実	59人
9. 健康やスポーツに関する情報の充実	55人
10. 特にない	4人
11. その他	7人



「1. 身近に利用できるよう、施設の増加」(110人)、「4. 初心者向けのスポーツ教室やスポーツイベントの開催」(107人)などが、新居浜市の公共スポーツ施設について望むこととして多く挙げられています。

#### 問17. 問16で「11. その他」と答えた方にお伺いします。新居浜市の公共スポーツ施設について何を望みますか？（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・空調の設備を整えてほしい。特に小・中学校の体育館は、避難所としても使用することを考えると必要。
- ・新居浜市のスポーツ施設の駐車場スペースが、圧倒的に無さすぎる。小・中学校のグラウンド（体育館も含めて）は整備管理が雑である。屋外スポーツが雨でも練習、できれば試合やイベントもできるような施設が充実してほしい。
- ・廉価な料金
- ・ラグビー場など、新居浜市に現在ない施設を建設してほしい。国体競技に関するものは全て揃えてほしい。
- ・今は種別毎に、程々の規模の施設の必要性が増しているのではないのでしょうか。新居浜市独自では難しいので、東予3市で共同利用できる施設を分担してはどうでしょうか。
- ・先日の総合運動公園構想の調査で、野球場の建設希望が多いとの結果になりましたが、この設問について回答者の年齢別の結果は出していますか。もし10～20代に調査をした場合、この意見は激減するのではないかと思います。現在、野球離れが進んでおり、市内の各ソフトボールチーム、野球チームの部員数も右肩下がりで、これからも時代の変化や社会情勢的に増加は見込めそうにありません。スポーツの国際化が進む中で、野球に特化した施設を新規につくることは、今の時点では同意を得られても、次世代的な観点から言うと時代錯誤な案ではないかと思います。もう一度再考をお願いします。
- ・市内体育館での教室に通っているが、ユニバーサlmスクのこの時代にレッスン中はもちろん、それ以外でもマスクをしないで大声で喋っている人がいる。皆が安心して通える施設にしてほしい。市の危機管理意識が低いと思う。

## 問18. 今後、新居浜市のスポーツ振興に望むことがありましたら自由にご記入ください。

### (自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・まず市民体育館を、市民プールを無くしてでも、県外利用者にも不便のないような新しい体育館に建て替えてほしい。そうすれば、新居浜市のスポーツ振興も進むと思う。
- ・色々なイベントができる大きな施設をつくってほしい。
- ・現在計画中の総合運動公園を早急に完成させて、高度な大会等ができるようにしてほしい。新居浜市に向けた、また得意とする競技を選択して、集中的に強化するのが良いのではないのでしょうか。また、幼児期からスポーツに親しむ場所、機会、そして優秀な指導者を提供することが大事ではないのでしょうか。
- ・施設、設備の充実。施設を増やしてほしい。川東、川西地区にも。
- ・市内には滝の宮公園をはじめ、いくつかの公園があります。憩いの場所としてだけでなく、軽スポーツが楽しめるような施設の充実をお願いしたい。
- ・今後高齢者が増え続けるので、スポーツ振興は必要だと思います。気軽に誰もが参加できる所を望みます。
- ・高齢者層が増えていく状況で介護施設の充実ももちろん必要であるが、健康で自力で生活できる高齢者を増やすためにも、高齢者に特化した施設ではなく、どんな年代の人も利用できる施設やイベントを企画してほしい。年代が違う人たちの集まりの中でスポーツするのが望ましいと思う。
- ・施設に子どもを連れて行っても、安心してスポーツができるようにすれば、子育て世帯も気軽に行けると思う。高齢の方や障がいがある方のために完全にバリアフリー化すれば、もっと使いやすくなると思う。
- ・子どもがスポーツに関心があるが、新居浜ではやりたい競技も指導もない。ウエイトリフティングやセーリングの新居浜での成果は素晴らしいが、他にも欲しい。施設が充実していれば、競技者は来ると思う。体育館が素晴らしく良くなったが、他市と比較すると規模も設備も駐車場も物足りない。まずは、陸上競技場を含む河川敷の駐車場整備を望みます。
- ・東雲の陸上競技場は他の地区にはない立派な施設なので、少額の使用料を徴収して、不特定多数の人が入れないように囲いをし、入り口を一ヶ所にしてはどうか。
- ・体育館に空調設備が欲しい。
- ・河川敷、グリーンフィールドなどの芝生グラウンドへのナイター設備の設置。
- ・クロスカントリーコースを考えてもらいたい。筋力、体力アップのために。
- ・ホットヨガの施設があまりないので、できるといいなと思っています。
- ・全国的に見ても、新居浜は野球人口が多いと聞きます。市営球場をもっと綺麗にして、プロ野球選手が来られるようにしてほしいです。
- ・惣開校区はウォーキングできるような歩道が少なく、車の通りも多いので、歩道を整備してもらえると嬉しい。歩道や自転車用レーンを整備することで自転車や歩行者が増え、運動不足解消や健康寿命アップも期待できるのでは。また、子育て世代が多いので、徒歩で行ける範囲の小さな公園も需要があると思う。
- ・いざという時(学校の体育館が工事で使えない、自主練習がしたい)に施設を借りられないことがよくある。
- ・施設や会場があちこちでまとまりもなく、交通の便も悪くとても残念です。
- ・高齢者がスポーツ施設に通えるような交通システムの充実。路線バスを活用して自由に利用できるサービス。
- ・河川敷でグラウンドゴルフをしています。免許証を返納した方が、河川敷までの道のりが少し遠いので交通手段がなくて困っています。先日市役所にも相談しましたが、良い手段がありません。耕作放棄地の利用による近隣の場所の確保ができればと思っています。妙案があれば教えてください。
- ・箱や設備ではなく、グループやクラブ、人材、広報にお金を使うべきだ。

- ・私の地域の体育振興会の会員は年々少なくなっている。指導者の数も減っている気がする。指導者を増やす等、何らかの対策を取らなければいけないと思う。
- ・各地域にスポーツサークルがあるが、時間や人数等で合わないことがある。高度な機能やレベルが高い所では入会できないと言われることもある。
- ・国の指針にもありますように、新居浜市も総合型地域スポーツクラブを作っていく必要があるのではないかと思います。総合運動公園構想と並行して検討してみたいはいかがでしょうか。
- ・どの分野も指導者不足のように思います。各分野の全国レベルのアスリートを招待して指導していただき、多くの子どもたちに刺激を与えてほしい。
- ・学校のクラブ、部活動の指導者を、市で学校に配置してほしい。先生が携わったことのない競技を教えるより、その競技に長けている指導者から教わった方が生徒も伸びるし、スポーツが活性化していくと思う。
- ・レベルの高い指導者が必要では。イベントも含めて、広報活動の充実を。市政だよりをもっと活用すべき。
- ・市内の高校から、甲子園に行ってもらいたい。
- ・難しいとは思いますが、バスケットボールやバレーボールなどのプロスポーツチームを新居浜市に誘致することができればいいと思う。
- ・子どもたちに1つのスポーツを続けてほしい。そういう環境を作ってあげたい。例えば、定期的なプロ野球選手との交流があれば、目標を持って続けられるのではないかと思います。金銭的な負担についても、ある程度の実力を持つ子には支援する制度を明確に作ってほしい。
- ・子どもの頃に運動が苦手な体育の授業が辛い、大人になってもスポーツが嫌いなままになってしまう。まずは、子どもが楽しくスポーツができるように、きちんと学校教育の場で教えてあげることが大事だと思う。
- ・大人の都合でチームが分散したり、子どもたちが交流できなくなったりする話をよく聞きます。新居浜市のスポーツ力向上の妨げの大きな要因だと思います。市で一度取り上げてみてはいかがでしょうか。
- ・子どもの学校経由でチケットの申し込みがあり、先日愛媛FCの試合を見に行きました。初めてのサッカー観戦で、こんな機会がなければ観戦しようという気持ちにならなかったのも、また開催してください。
- ・誰でもスポーツをしてみたいと思えるようなイベントがあったらいいな、と思います。
- ・あかがねマラソンをもっとPRすればいいと思います。
- ・数年前に引っ越してきたが、スポーツが身近にある市だと感じた。ただ、あまりスポーツ経験がなく、県外から来た者にはコミュニティに入りづらいので、イベント等があるときかけが持てるかな、と思った。
- ・市民体育館の様々な教室の充実。気軽に道具等を借りて、色々なスポーツが楽しめるようなシステムの構築。
- ・市の体育館や公民館などで、無料でできるものを知りたい。
- ・1人でも、初めてでも参加しやすいようにしてほしい。体験会のように、既存のグループに体験参加するのではなく、皆が初めて体験するような場をつくってほしい。
- ・ヨガの初心者コースに参加してみても、他の人はベテラン。本当の初心者コースに参加できる環境がほしい。
- ・3歳くらいから参加できて、子どもの興味や向いているものを探したいので、小さい子だけの野球やサッカー、バドミントン、スイミングなどのスポーツイベントがあると嬉しい。
- ・障がい者や障がい児と一緒にできる、ルールが理解しやすいスポーツ。過去にソフトバレーをして楽しかったです。市政だよりなどで知らせてほしい、との声があります。
- ・市内の子どもや学生たちが、家族や友人とスポーツを楽しむことが、利用時間帯の制限で、したくてもできない。コロナ対策も考慮に入れることは不可欠だが、コロナを理由に「できない」ではなく、「できるように」変えていくべきだと思う。
- ・こういう時だからこそ、すべての世代がもっとふれあいや健康づくりができる場や機会を拡充することが必要だと感じます。

<まとめ>

新居浜市では、平成26年に策定した「新居浜市スポーツ推進計画」や平成27年12月に策定した「新居浜市総合戦略アクションプラン」の中で、「市民のライフステージに応じた運動・スポーツに親しむ機会の創出」や「市民（成人）の運動実施率の向上」を目指して、各種スポーツ事業を行っています。今回のアンケートは市民の皆さんの日頃の運動に対する意識や現状について、前回のアンケート（R01実施）結果と比較することで、令和3年度に行われる新居浜市スポーツ推進計画の更新に活用させていただきたく実施しました。

調査結果として、スポーツを「する」または「見る」のが好きと答えた方が81.9%と前回と比較して約3ポイント減少しており、また、週に1回以上の運動を行っている人については53.3%と前回と比べても約5ポイント減少し、頻度に関係なく運動・スポーツを行っている人については、前年と比べても約6ポイント減少となっていることが分かりました。減少した主な要因としては新型コロナウイルス感染症拡大による影響が関わっていることと推察されます。

現在、取り組んでいるスポーツとしては、散歩・ウォーキング、ゴルフ、筋力トレーニング、エクササイズ（ヨガなど）が多く、これについては前回と同じ結果となっております。運動・スポーツに取り組む理由としては体力づくり・健康づくりのため、運動不足解消のためとなっており、これについても前回と同様となっております。また、運動・スポーツをしていないと答えた人のうち、機会があればこれから何か運動やスポーツをしてみたいと思っている人が69.2%と前回の82.8%と比較しても大きく減少していることが分った反面、運動・スポーツやりたくないと思っている人の割合が増加していることが分かり、運動・スポーツに興味を持ってもらう、始めてもらうきっかけの場の提供が必要であると考えられます。

新型コロナウイルス感染症の影響により新しい生活様式が実践される中で、スポーツをするときに気をつけたいこととしては、三つの密（密集・密接・密閉）のなかで、スポーツや運動をしないようにする、自身の体調に少しでも異変を感じたら、運動やスポーツを控えるという意見が多くあり、各人の意識の高さが分かります。施設としても、ソーシャルディスタンスの確保等、感染症対策を十分に行っていく必要があることを再認識させられました。

また、新居浜市をもっとスポーツが盛んなまちにするためのご意見として、どんな年代の人も参加できるイベントの企画、各種目競技の指導者の充実、初心者に向けた各種スポーツ教室の実施や、スポーツ施設に対する新型コロナウイルス感染対策の徹底、身近に利用できる施設数の増加、各施設の駐車場の充実といったご要望をいただきました。

アンケート結果を受け、新居浜市でもスポーツに対する意識が減少していることが分かり、この状況を改善するために時代に合わせたイベントの開催や、生活に寄り添うスポーツの推進が必要であると感じております。今回いただいたご意見を参考に多くの方が運動・スポーツを身近に感じて取り組めるように努めてまいりたいと思います。今後も引き続き、本市のスポーツ振興に関する取り組みに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。

（担当課：スポーツ振興課）

## テーマ⑧ 感染症予防と「新しい生活様式」について

### 【調査趣旨】

令和2年5月、厚生労働省は長期化が予想される新型コロナウイルス感染症に対応するため、「新しい生活様式」の実践例を公表しました。私たちのいのちと健康、暮らしを守るためには、一人ひとりの行動が非常に大切です。新居浜市においても、市民の皆さんに日常生活から感染予防を取り入れていただくため、引き続き、咳エチケットや手洗いといった感染予防対策の啓発に努めてまいります。

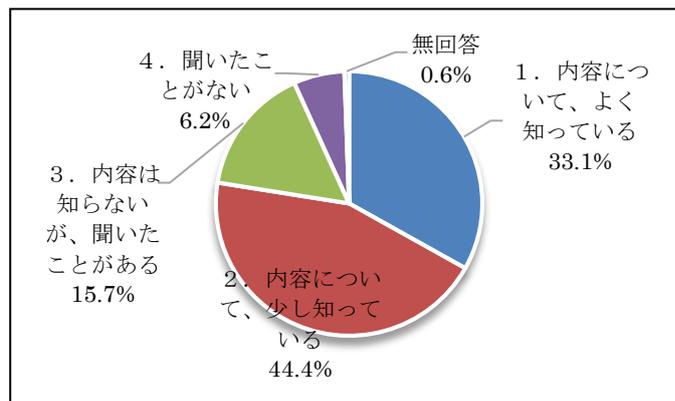
今回のアンケートでは、「新しい生活様式」の認知度や皆さんの実践状況等をお伺いし、今後の市の感染症予防に係る啓発活動の参考とさせていただきたいと考えております。

(担当：保健センター)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

### 問2. 令和2年5月に厚生労働省が公表した、新型コロナウイルス感染症対策を想定した「新しい生活様式」をご存じですか。(1つ選択)

1. 内容について、よく知っている	59人
2. 内容について、少し知っている	79人
3. 内容は知らないが、聞いたことがある	28人
4. 聞いたことがない	11人
無回答	1人
合計	178人

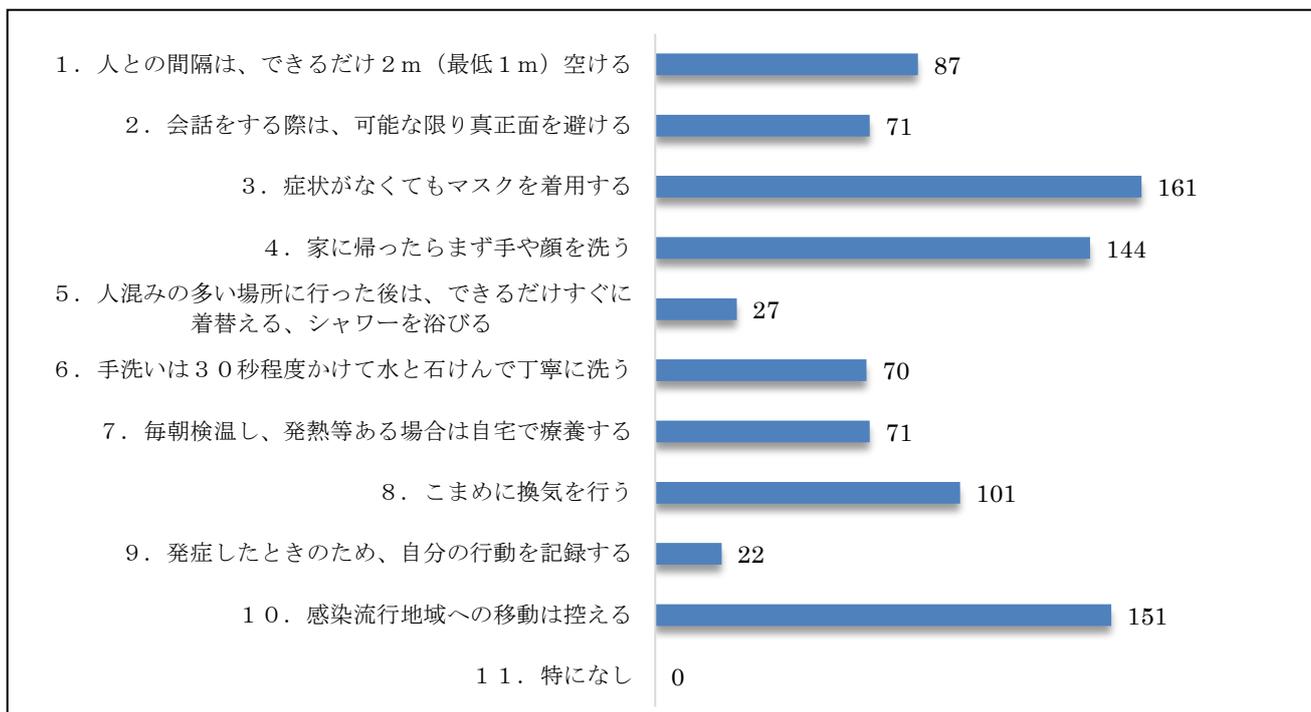


「2. 内容について、少し知っている」(44.4%)と答えた方が最も多く、次いで「1. 内容について、よく知っている」(33.1%)、「3. 内容は知らないが、聞いたことがある」(15.7%)、「4. 聞いたことがない」(6.2%)の順となっています。

### 問3. 「新しい生活様式」では、3つの感染防止基本策として、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いが挙げられています。「新しい生活様式」で挙げられている基本的な感染対策の実践例のうち、あなたが普段の生活の中で、実践しているものはありますか。(複数選択)

1. 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける	87人
2. 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける	71人
3. 症状がなくてもマスクを着用する	161人
4. 家に帰ったらまず手や顔を洗う	144人
5. 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる	27人
6. 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う	70人
7. 毎朝検温し、発熱等ある場合は自宅で療養する	71人
8. こまめに換気を行う	101人

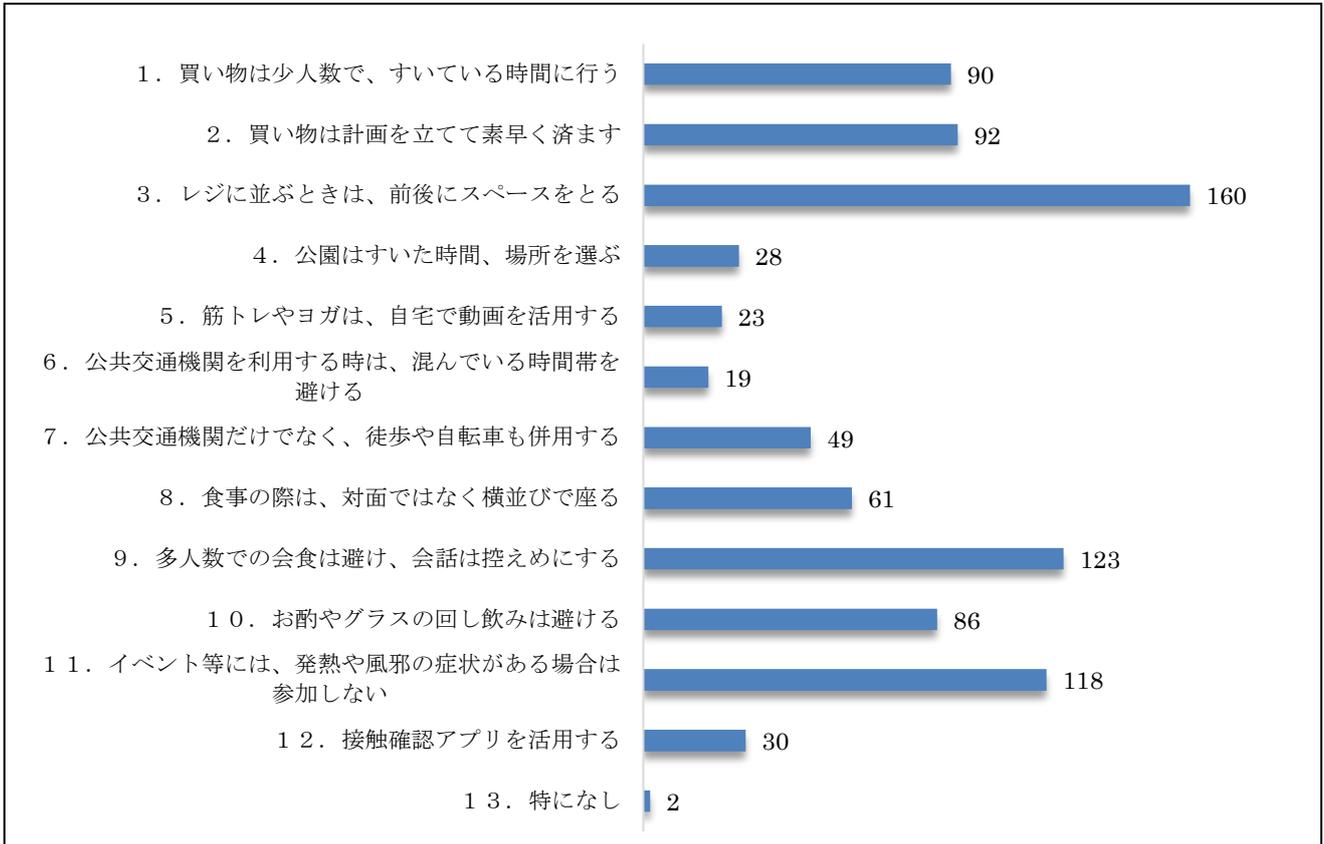
9. 発症したときのため、自分の行動を記録する	22 人
10. 感染流行地域への移動は控える	151 人
11 特になし	0 人



「3. 症状がなくてもマスクを着用する」(161人)、「10. 感染流行地域への移動は控える」(151人)、「4. 家に帰ったらまず手や顔を洗う」(144人)などが、「新しい生活様式」で挙げられている基本的な感染対策の実践例のうち、普段の生活の中で実践しているものとして多く挙げられています。

問4. 「新しい生活様式」では、日常生活の各場面での感染対策の実践例が挙げられています。次の中で、あなたが普段の生活の中で、実践しているものはありますか。(複数選択)

1. 買い物は少人数で、すいている時間に行う	90 人
2. 買い物は計画を立てて素早く済ませる	92 人
3. レジに並ぶときは、前後にスペースをとる	160 人
4. 公園はすいた時間、場所を選ぶ	28 人
5. 筋トレやヨガは、自宅で動画を活用する	23 人
6. 公共交通機関を利用する時は、混んでいる時間帯を避ける	19 人
7. 公共交通機関だけでなく、徒歩や自転車も併用する	49 人
8. 食事の際は、対面ではなく横並びで座る	61 人
9. 多人数での会食は避け、会話は控えめにする	123 人
10. お酌やグラスの回し飲みは避ける	86 人
11. イベント等には、発熱や風邪の症状がある場合は参加しない	118 人
12. 接触確認アプリを活用する	30 人
13. 特になし	2 人



「3. レジに並ぶときは、前後にスペースをとる」(160人)、「9. 多人数での会食は避け、会話は控えめにする」(123人)、「11. イベント等には、発熱や風邪の症状がある場合は参加しない」(118人)などが、「新しい生活様式」で挙げられている日常生活の各場面での感染対策の実践例のうち、普段の生活の中で実践しているものとして多く挙げられています。

#### 問5. 問3、4の実践例以外に、あなたが普段の生活の中で実践している感染対策があれば、具体的に教えてください。(自由記入)

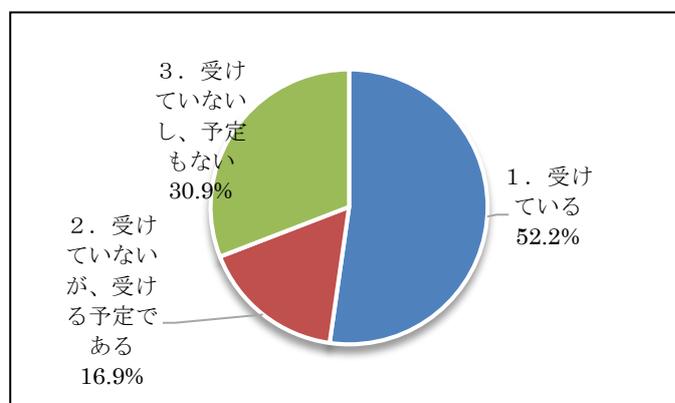
たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・用事がない限り、外出は控える。
- ・人混みには行かない。
- ・散歩は早朝や夕暮れ時など、人通りの少ない時に行く。
- ・病院で薬をもらう時は、人が少ない時間に行くようにしている。買い物に行く時は、必ず1人で行く。
- ・旅行を控えています。
- ・観光地やイベントなど、県外から人が集まる場所へ行かない。
- ・県外へ出たら、その後2週間は自粛生活を送り、同居家族とも接触しない。
- ・コロナが流行してからは、ほぼ仕事の行き帰りと行きつけのスーパーと本屋へ行くくらいで、大型ショッピングセンターや大好きだった温泉にもほとんど行っていない。
- ・要所要所での手指衛生。人と距離を取り、話は短時間で済ませて、無駄話をしない。
- ・店の入口にアルコール消毒や検温器がおいてある場合は、必ず利用する。
- ・除菌シートやアルコールジェルを携帯する。店に入る時と出る時に、アルコール消毒をする。
- ・手洗いをした後にうがいもできるように、うがい薬を薄めてペットボトルに入れて、持ち歩いています。
- ・口に食物を入れる時は、手洗いと消毒をする。

- ・ドアなどの手に触れる部分の消毒。孫の玩具の消毒。
- ・常に換気をしている。
- ・換気とともに、除菌スプレー等をこまめに部屋に散布する。
- ・マスクは必ずつけて、外出する。帰ったらうがい、手洗い、家の換気をする。
- ・こまめにアルコールで除菌、清掃。タオルやマスクもこまめに換える。
- ・マスクの下にガーゼを入れる。家に入る前に、上着を中で全て脱いで袋詰めして洗濯機まで運ぶ。
- ・家の中でもマスクをして過ごす。
- ・外食をしない（テイクアウトは別）。
- ・買い物をする時、べたべた商品に触ったりしない。カート等、共有物は消毒して使用する。
- ・エレベーター等を指で触らないようにしている。来客が帰ったら除菌スプレーをする。
- ・5人以上の会食は控えている。カラオケ、合唱コンクールは休んでいる。孫とはオンラインで会っている。
- ・老人会の行事は回数を減らし、消毒薬・マスクを用意し、席は1.5mの間隔を保ち、お弁当は持ち帰りにするなど、感染防止策の基本を忠実に実施しました。
- ・経済も心配なので、郊外の個室などで会食もしている。
- ・家庭内でも、おかずは各自別の皿にする。
- ・家庭内でのタオル使用への配慮。食器等の共用使用もしないようにする。
- ・他人宅を訪問した場合は、玄関を開けたまま外で、短時間でお話しさせていただいている。声を小さく、飛沫を出さないよう気を付ける。日々の用件は、ほぼスマホ・電話で終えている。
- ・接客の職場なので、カウンターにはアクリル板、ビニールエプロン・マスクを着用し、手袋は客ごとに交換。寒くなってきたが、事務所の窓は全開にしている。
- ・部屋の中ではウイルスバスター加湿器の使用。
- ・朝夕、熱を測っている。体調にも気をつけて、早めの健康管理をしている。
- ・免疫力を高めるために、ビタミンDのサプリメントを常用している。
- ・食生活や規則正しい生活ができるように心掛けている。
- ・休日に銭湯に行って、免疫力を上げること。

問6. インフルエンザ予防接種についてお伺いします。あなたは今年、インフルエンザ予防接種を受けましたか。（1つ選択）

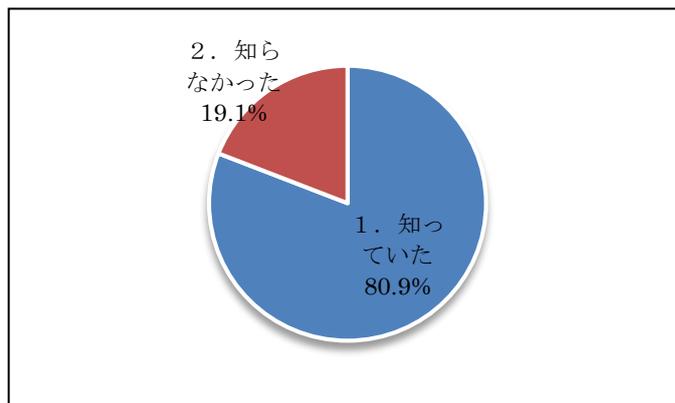
1. 受けている	93人
2. 受けていないが、受ける予定である	30人
3. 受けていないし、予定もない	55人
合計	178人



「1. 受けている」(52.2%)と答えた方が多く、「2. 受けていないが、受ける予定である」(16.9%)を合わせると、全体の約7割の方がインフルエンザ予防接種を受けている、または受ける予定であることがわかりました。

問7. 新居浜市では、新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度に限り、65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担金額を無料とする取組みを実施しています（実施期間：10月1日～12月31日）。このことをご存じでしたか。（1つ選択）

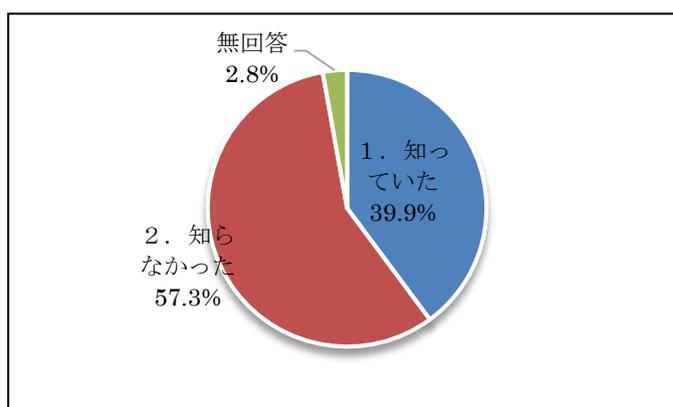
1. 知っていた	144人
2. 知らなかった	34人
合計	178人



「1. 知っていた」（80.9%）と答えた方が多く、全体の8割を超えています。

問8. 新居浜市では、中学3年生及び高校3年生の受験生が任意で接種するインフルエンザ予防接種について、接種料の一部を助成する取組みを実施しています。このことをご存じでしたか。（1つ選択）

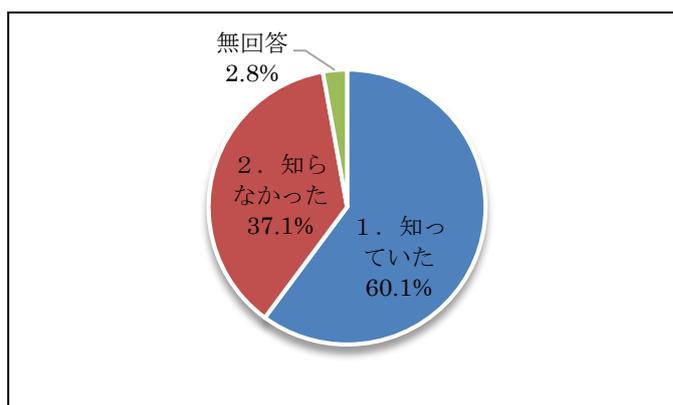
1. 知っていた	71人
2. 知らなかった	102人
無回答	5人
合計	178人



「2. 知らなかった」（57.3%）と答えた方が、「1. 知っていた」（39.9%）より多くなっています。

問9. 愛媛県では、新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行に備えるため、11月16日から、発熱等症状のある場合の受診方法を変更しています。このことをご存じでしたか。（1つ選択）

1. 知っていた	107人
2. 知らなかった	66人
無回答	5人
合計	178人



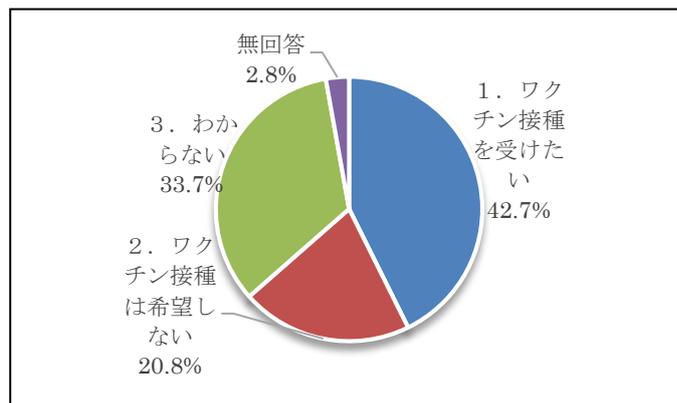
(※) 新しい受診体制

発熱等の風邪症状で受診したい場合は、まず「かかりつけ医」等の身近な医療機関に電話等で相談する（直接受診はしないこと）。

「1. 知っていた」(60.1%)と答えた方が、「2. 知らなかった」(37.1%)より多くなっています。

問10. 今後、新型コロナウイルスワクチン接種ができる体制が整った場合について、お尋ねします。  
もしワクチン接種が可能となったら、受けたいと思いますか。（1つ選択）

1. ワクチン接種を受けたい	76人
2. ワクチン接種は希望しない	35人
3. わからない	60人
無回答	5人
合計	176人



「1. ワクチン接種を受けたい」(42.7%)と答えた方が最も多く、次いで「3. わからない」(33.7%)、「2. ワクチン接種は希望しない」(20.8%)の順となっています。

問11. 問10で「2. ワクチン接種は希望しない」と答えた方にお伺いします。希望しない理由を教えてください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

※（ ）内は同種意見の方の数を示しています。

【副作用が不安、安全性が確認できない (31)】

- ・副作用などが少し怖いので様子見したいから。
- ・初めは副作用などがどれくらいあるかわからない。急いでつくられたワクチンは、安心できないから。
- ・安全性についての不安が残る。経過を見て、判断すれば接種するかもしれない。
- ・弱くてもコロナウイルスを体に入れる影響は計り知れない。副作用を心配するのは当然ではないでしょうか。
- ・治験の数が増え、安全とわかるまでは（副作用の症状も明らかになるまでは）、予防だけですませたい。
- ・外国製のワクチンで、日本人の体質に合っているのか？ワクチンのリスクがわからない。

【有効性がわからない (5)】

- ・効くかどうかわからないので。接種した数年後の結果を見て考えたい。
- ・未知の部分が多く持続性もよくわからないため。

【その他 (9)】

- ・服用中の薬があり、薬のアレルギーもあるため医師の相談が必要。
- ・何をしても感染する時はするし、しない時はしない。自然に任せて、日常でできることに気を付けながら過ごしたい。
- ・注射が嫌いだから。元々、病気にかかりにくく健康なので。

## 問 1 2. その他、感染症予防等に関して、何かご意見やご提案があればご記入ください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・感染症予防等に関しては、各自の行動自覚が一番大切ではないかと思います。自覚を促すために、行政からの情報提供及び広報活動が必要です。
- ・予防は大変と思いますが、積極的に推進をお願いします。
- ・65歳を超えているので、コロナはとても怖いです。手洗い、うがい、マスク、ソーシャルディスタンス、市外県外への移動はしないことを守っています。
- ・手洗い、うがいは必ずするようになった。換気や湿度にも気をつけるようになったので、他の感染症も減ると思う。
- ・最近ではマスクやアルコールなども手に入りやすくなったので、少し安心しています。
- ・買い物や外食等、各店舗にマスクを着用せず入店されている方を時々見かけます。何か、着用を促す働きかけを積極的に行う方法はないのかと思います。
- ・公共施設の洗面所や手洗い場には、常時石けんを設置してほしい。市役所の来訪者には、政府の安全宣言が出るまでマスク着用を義務化し、密を避けるため住民票のコンビニ受取りサービスへの加入をお願いしたい。
- ・市の体育館の利用者がマスクをつけないまま喋っていたり、手指消毒の徹底がなされていないことを見逃している、施設職員の危機管理意識の低さ、慣れが怖い。
- ・可能な限り、市主催の会合等はしないこと。各地域の主催の運動会等も今秋は避けること。
- ・コロナ禍で災害が発生した場合、どのような対策がなされているのかが心配です。
- ・どこも悪くないのに、色々な所でマスクの着用を求められたり、行動を用紙に記入させられたりするの、かなりしんどい。息はしづらいいし、顔は痒くなるし、精神的なイライラが募ってくる。早く薬をつくってもらうしかない。
- ・学校側が子どもたちにコロナ予防を厳しく徹底しているが、先生側もコロナのことに捉われ過ぎて、人との関わり方を重視できずにいると思う。友人との会話も色々注意されているようだが、学校がリモート教育でなく、通学である意味をもう一度考え直してほしいと思う。
- ・個人がきちんと予防管理できていれば広がることもないと思うので、「自粛、自粛」と言って何でも取り止めにするのではなくて、意識の徹底、管理の徹底を細かく、市からも呼びかければ良いと思う。
- ・経済を回すことも大切なので、過度に慎重なのは高齢者などだけでいいのかも？
- ・あまり恐怖心を思わず、自分ができる範囲の予防策をとっていけばいいと思います。
- ・感染が拡大している現在、緊急事態宣言を出す必要があると思う。
- ・春に比べ、第3波は深刻なのに皆の気が緩んでいる気がします。今はブレーキをかけて、Go To トラベル、イートは休止し、また状況が良くなってから開始すべきです。春と同じく対応が後手後手になって、医療関係者の負担が大きくなりつつあり、とても心配です。経済よりも人命の方が大事なのは？一人ひとりの行動注意だけでは、対応できない時期に来ていると思います。
- ・Go To トラベル、やめればいいのに。イートはテイクアウトがあるので全く気にならないが。
- ・Go To キャンペーンの見直しをなぜしないのか、できないのか？年末年始の帰省もしないように取り組む。
- ・愛媛県でもコロナの感染者が出ているが、地域を公表していない場合があるので、不安が大きくなります。できればある程度地域を公表してほしい。
- ・感染者の公表はきっちりしてほしい。あいまいな発表はかえって憶測で変な噂に繋がるし、不安になるだけ。身近なところで感染者が出ているとわかれば、予防の仕方も変わってくると思う。
- ・人権侵害にならないことを前提に、早急な情報提供を望む。

- ・検査体制の拡大・拡充を図る。キャリアを早く見つけられるようにする。
- ・症状のない感染者が一番怖い。すべての人がPCR検査を受けることができればよいが、実際には難しい。低費用で簡単に感染有無を判断できるキットの開発が進むことを望んでいる。
- ・インフルエンザの予防接種は、中学3年生・高校3年生に限らず、学生、乳幼児にも補助を出してほしい。
- ・子どもは2回接種するので、かなり高く感じます。子どもの接種代の補助、または無料にならないでしょうか。小学生は授業が終わると16時過ぎで、予防接種の予約に毎年スケジュール調整が大変です。接種の時期、料金ともに見直していただきたいと思っています。
- ・65歳以上はインフルエンザ予防接種が無料で、60～64歳には助成がないのは矛盾していると思う。
- ・インフルエンザワクチンが無くなってしまい、子どもが2回目の接種をすることができなかった。有事の場合、市が全市民のワクチンを用意できるくらいの財力、行動をしてくれてもいいのに、と思います。
- ・コロナワクチン接種に関しては、受けてみたい気持ちはあるが、その有効性や安全性が十分立証されてから受けたと思う。

<まとめ>

今回のアンケートでは「新しい生活様式」の認知度や市民の皆さんの感染予防対策の実践状況等について調査し、今後の市の感染症予防に係る啓発活動に活用させていただきたく実施しました。

厚生労働省が公表した「新しい生活様式」については、「よく知っている」または「少し知っている」と回答した方は7割以上であり、基本的な感染対策を実践されている方も多いということがわかりました。また、普段の生活の中で実践している感染対策についても、こまめな手洗いや手指消毒、換気、家庭内感染予防のための対策等、多くの例があげられました。

インフルエンザ予防接種については、7割近くの方がインフルエンザ予防接種を「受けている」または「受ける予定」という回答でした。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぐための感染対策の効果もあり、例年12～2月がインフルエンザ流行期となりますが、今期においては令和3年1月現在、市民の皆様のご協力によりインフルエンザの発症例はありません。

また、新しい受診体制についてはホームページ掲載やSNSの活用、自治会回覧等で啓発を行ないましたが、「知っていた」方は6割であり、より効果的な啓発活動を検討する必要があると考えています。

新型コロナウイルス感染症対策は今後も継続していくことになります。市民の皆様には、今後も感染予防行動の実践をお願いいたしますとともに、新居浜市においては新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識・情報の提供、感染予防行動についての啓発活動により一層努めてまいります。アンケート調査のご協力ありがとうございました。

(担当課：保健センター)

## テーマ⑨ 新居浜市の広報・広聴活動について

### 【調査趣旨】

新居浜市では、広報紙「市政だよりにはま」の発行をはじめ、広報番組やホームページ等のさまざまな手段（媒体）を通じて、市民の皆さんに市政情報をお届けしております。また、市長への手紙やメール、市政モニター制度、まちづくり校区懇談会の開催などを通じて、広く市民の皆さんのご意見やご提案（市民の声）をお聞きし、市政への反映を図っています。

今回のアンケートでは、これらの広報・広聴活動について、市民の皆さんの認知度やニーズ等をお聞きし、今後、よりわかりやすい広報及び身近な広聴活動を進めて行くための参考資料として活用していきたいと考えています。

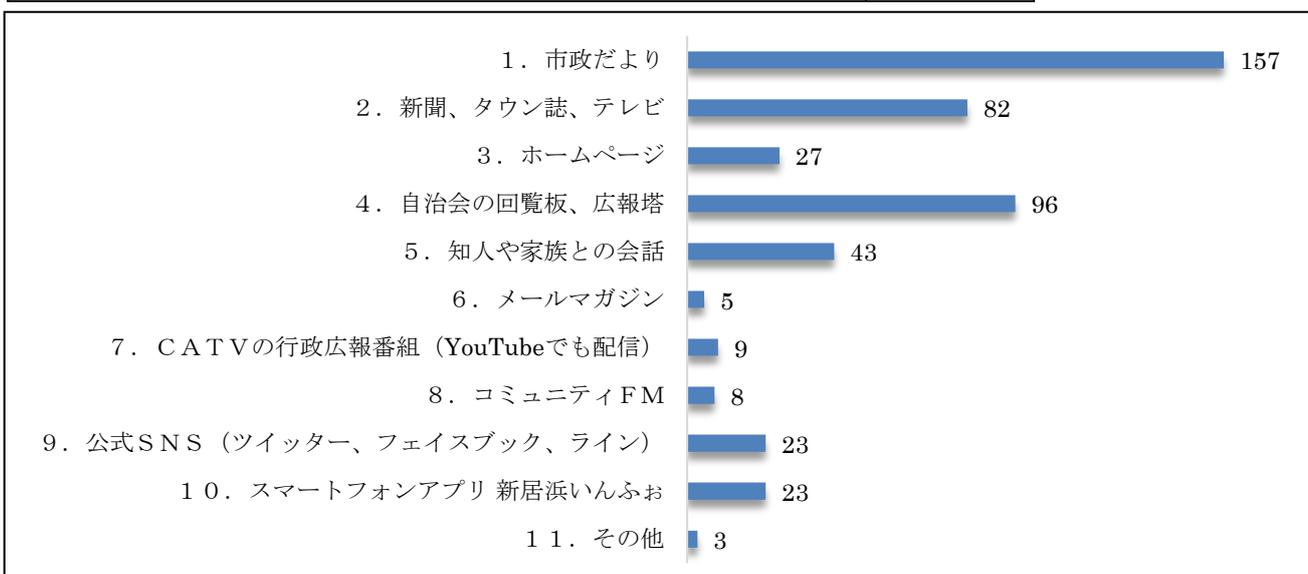
（担当：秘書広報課）

（※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略）

### 問2.【市の広報活動】に関してお伺いします。

市のお知らせやイベント情報はどこで手に入れますか。（複数選択）

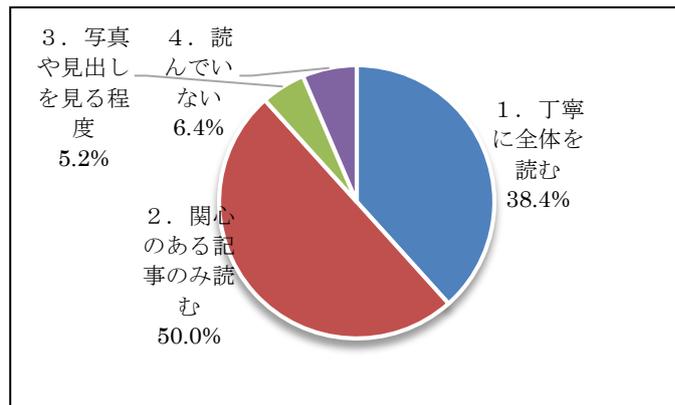
1. 市政だより	157人
2. 新聞、タウン誌、テレビ	82人
3. ホームページ	27人
4. 自治会の回覧板、広報塔	96人
5. 知人や家族との会話	43人
6. メールマガジン	5人
7. CATVの行政広報番組（YouTubeでも配信）	9人
8. コミュニティFM	8人
9. 公式SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン）	23人
10. スマートフォンアプリ 新居浜いんふお	23人
11. その他	3人



「1. 市政だより」（157人）、「4. 自治会の回覧板、広報塔」（96人）、「2. 新聞、タウン誌、テレビ」（82人）などが、市のお知らせやイベント情報の入手手段として多く挙げられています。

問3. 市政だよりを読んでいますか。(1つ選択)

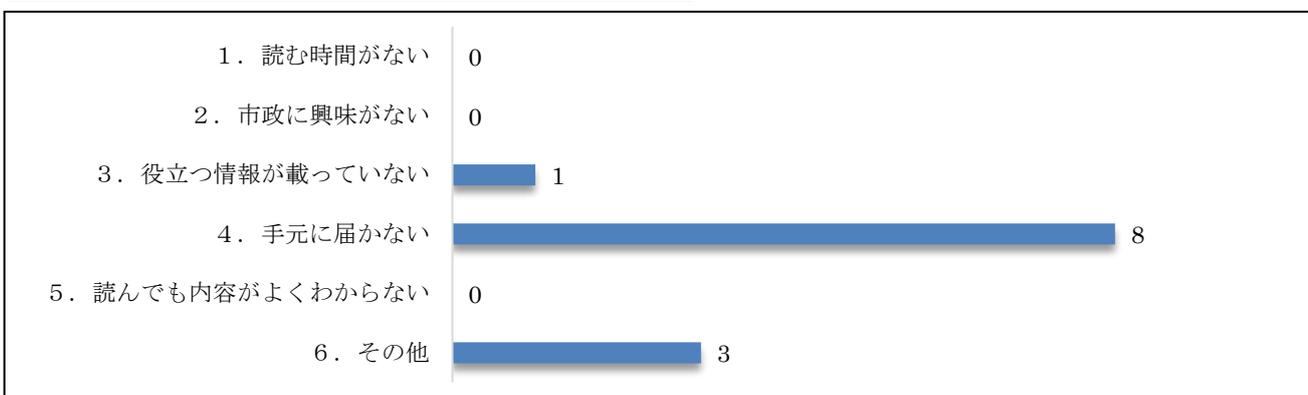
1. 丁寧に全体を読む	66人
2. 関心のある記事のみ読む	86人
3. 写真や見出しを見る程度	9人
4. 読んでいない	11人
合計	172人



「2. 関心のある記事のみ読む」(50.0%)と答えた方が最も多く、全体の半数となっています。「1. 丁寧に全体を読む」(38.4%)と合わせると、全体の約9割の方が市政だよりを読んでいることがわかりました。

問4. 問3で「4. 読んでいない」と答えた方にお伺いします。市政だよりを読まない理由は何ですか。(複数選択)

1. 読む時間がない	0人
2. 市政に興味がない	0人
3. 役立つ情報が載っていない	1人
4. 手元に届かない	8人
5. 読んでも内容がよくわからない	0人
6. その他	3人



「4. 手元に届かない」(8人)が、市政だよりを読まない理由として最も多く挙げられています。

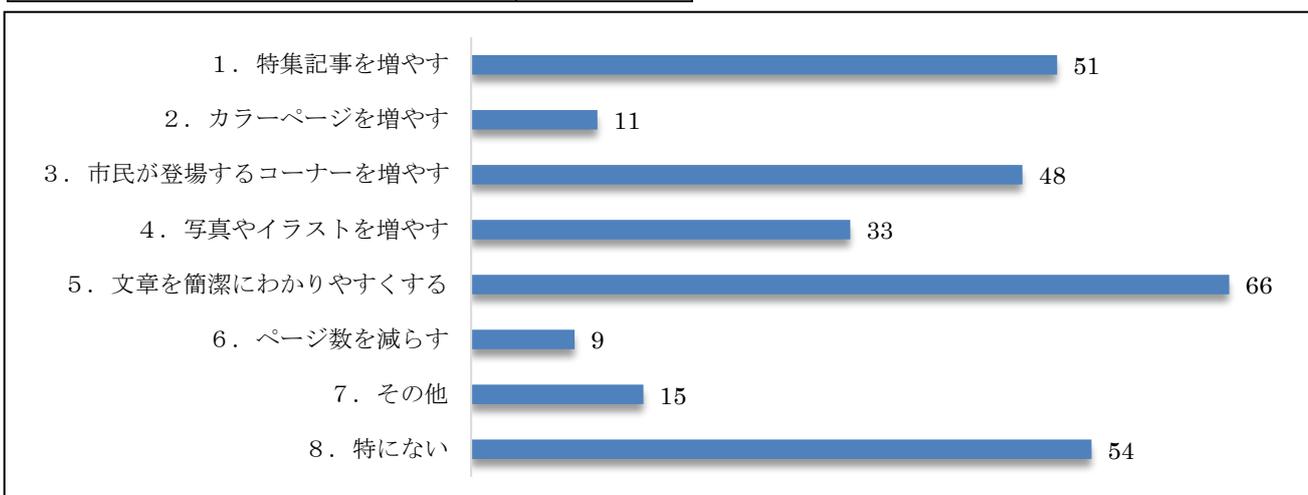
問5. 問4で「6. その他」と答えた方にお伺いします。市政だよりを読まない理由を教えてください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・家族が見てすぐに置き忘れてしまって、見られない。
- ・自治会に入っていないので市政だよりが手元に届かず、読みたいが読めない。市役所の受付で貰うこともあるが毎月ではない。

問6. 市政だよりについて、改善してほしい点やご要望を教えてください。(複数選択)

1. 特集記事を増やす	51人
2. カラーページを増やす	11人
3. 市民が登場するコーナーを増やす	48人
4. 写真やイラストを増やす	33人
5. 文章を簡潔にわかりやすくする	66人
6. ページ数を減らす	9人
7. その他	15人
8. 特にない	54人



「5. 文章を簡潔にわかりやすくする」(66人)、「1. 特集記事を増やす」(51人)、「3. 市民が登場するコーナーを増やす」(48人)などが、市政だよりの改善してほしい点や要望として多く挙げられています。一方、「8. 特にない」(54人)との回答も多くありました。

問7. 問6で「7. その他」と答えた方にお伺いします。市政だよりについて、改善してほしい点やご要望を教えてください。(自由記入)

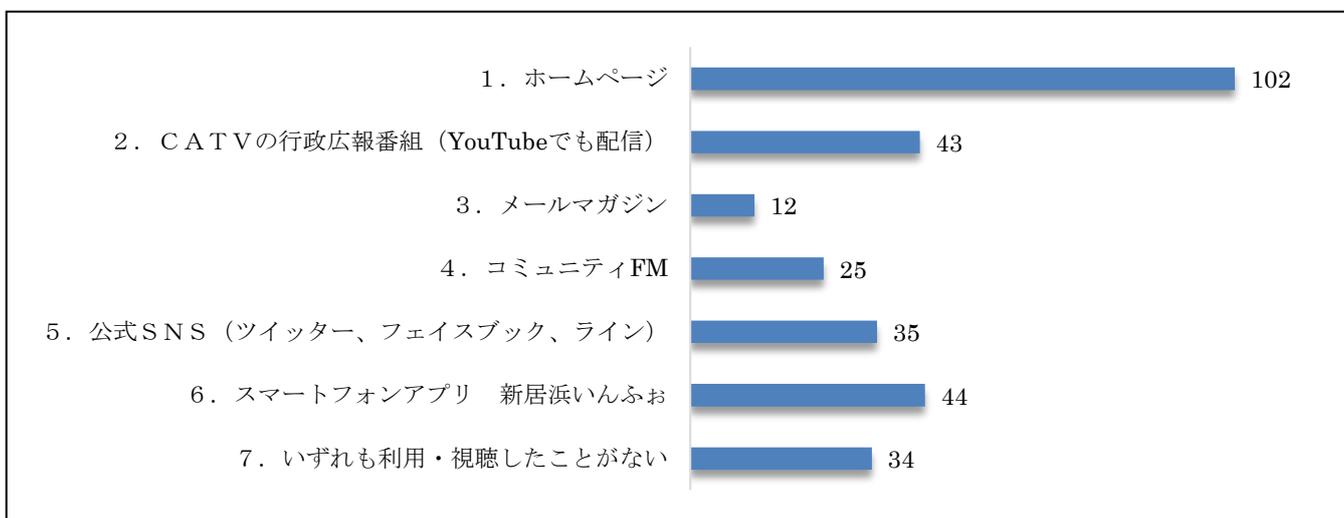
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・もう少し文字を大きくしてほしい。
- ・少ない文字でわかりやすくお願いしたいです。説明が多すぎると、最初から読まないことがあります。
- ・パブリックコメントを求める記事がたまにあるが、「詳しくはHPを」となると調べるのも手間なので、QRコードを読み込んだらすぐにその資料が見られるとか、箇条書きでよいから説明文をつけるとか、期間を長めに設定するとか改善してほしい。
- ・バラバラになるし、他の案内も同時に配られるので、以前のように留めてほしい。
- ・最近、紙の質が良くなっているが、前のような紙で十分だと思う。コストを抑え、他のことにその分のコストをかける方が良いのではないかな。
- ・市政だよりの発行費用は馬鹿にならないと思います。思い切って、紙媒体は白黒ページ主体にする、カラー版はウェブに掲載するなどしてもよいのではないのでしょうか。
- ・イベントが終わってから、届くことがある。

- ・自治会に加入していなければもらえない制度を廃止してほしい。
- ・市民全体に行き渡らせる工夫、努力が必要。
- ・配達してほしい。
- ・市民参加の行事について、もう少し「参加者を増やそう」という観点から記事を書いてほしい。また、その意味では、新しい行事の発掘やいつも満員の行事や教室について参加者を増やす等の工夫もしてほしい。
- ・県内の各市町の関連情報があれば、ありがたいです。
- ・議会の議事録や質問データは非公開ですか？ 結果や良くなったという実績を、見える化してほしい。
- ・市長の写真が載りすぎ。
- ・いろいろなクーポン券をつける。そうすれば見てくれる方も少しは増えるかもしれない。

問8. 市では、市政だより以外でも、さまざまな手段（媒体）を通じ情報発信をしています。次の中で、あなたが利用・視聴したことがあるものはありますか。（複数選択）

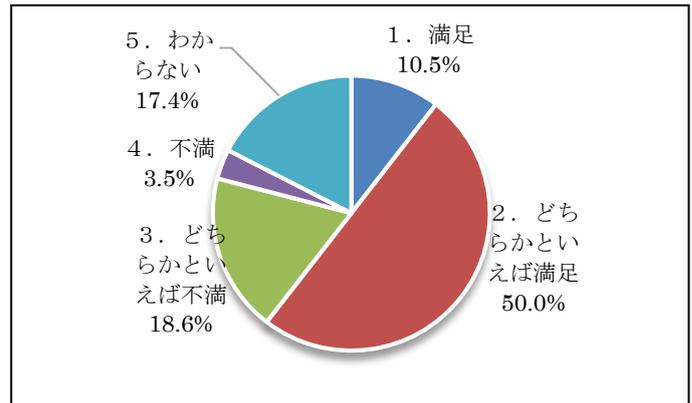
1. ホームページ	102人
2. CATVの行政広報番組（YouTubeでも配信）	43人
3. メールマガジン	12人
4. コミュニティFM	25人
5. 公式SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン）	35人
6. スマートフォンアプリ 新居浜いんふお	44人
7. いずれも利用・視聴したことがない	34人



「1. ホームページ」（102人）が、市政だより以外に利用・視聴したことがある市政情報媒体として最も多く挙げられています。その他では、「6. スマートフォンアプリ 新居浜いんふお」（44人）、「2. CATVの行政広報番組（YouTubeでも配信）」（43人）、「5. 公式SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン）」（35人）と答えた方が比較的多い一方、「7. いずれも利用・視聴したことがない」（34人）との回答も多くありました。

問9. 現在の新居浜市の広報活動についてどう思いますか。(1つ選択)

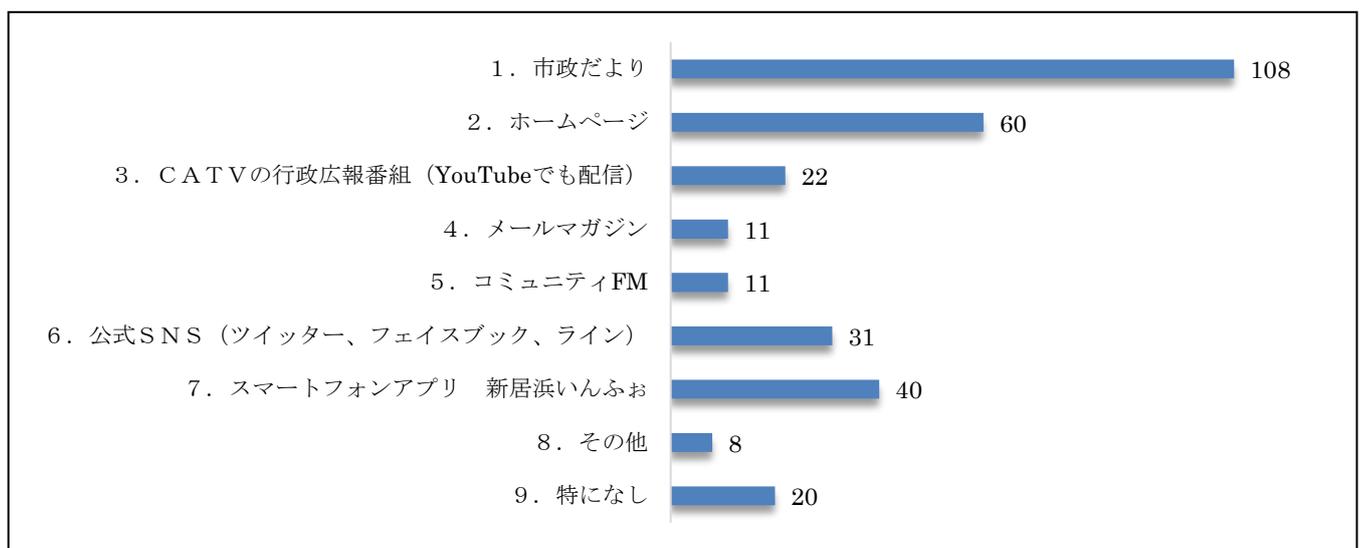
1. 満足	18人
2. どちらかといえば満足	86人
3. どちらかといえば不満	32人
4. 不満	6人
5. わからない	30人
合計	172人



「2. どちらかといえば満足」(50.0%)と答えた方が最も多く、次いで「3. どちらかといえば不満」(18.6%)、「5. わからない」(17.4%)、「1. 満足」(10.5%)、「4. 不満」(3.5%)の順となっています。

問10. 今後、力を入れてほしい情報発信の方法を、次の中から選んでください。(複数選択)

1. 市政だより	108人
2. ホームページ	60人
3. CATVの行政広報番組 (YouTubeでも配信)	22人
4. メールマガジン	11人
5. コミュニティFM	11人
6. 公式SNS (ツイッター、フェイスブック、ライン)	31人
7. スマートフォンアプリ 新居浜いんふお	40人
8. その他	8人
9. 特になし	20人



「1. 市政だより」(108人)、「2. ホームページ」(60人)、「7. スマートフォンアプリ 新居浜いんふお」(40人)などが、今後力を入れてほしい情報発信の方法として多く挙げられています。

問11. 問10で「7. その他」と答えた方にお伺いします。今後、力を入れてほしい情報発信の方法を具体的に教えてください。(自由記入)

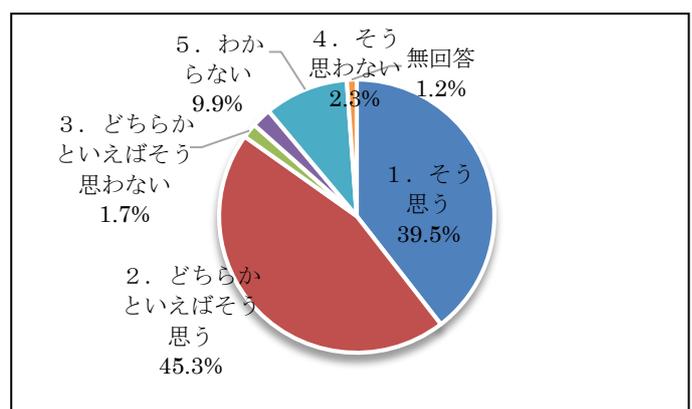
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・手に入る紙媒体の方が、やはり読むことが多いかと思います。紙媒体でのフリーペーパーのようなものを市から発行してはどうでしょうか。エンターテインメント性が高いものだと、より嬉しいです。
- ・「ここまち」等の地域のフリーマガジンに情報を載せるのが良いのではないのでしょうか。
- ・YouTubeとかニコニコ生放送でも放送してほしい。
- ・ホームページがとにかく利用しにくい。知りたい情報のページにたどり着かない。
- ・ホームページは文字ばかりで、感覚的に求める情報へアクセスできない。構成に大いに問題がある。早急に改善するべきだ。
- ・各自治会館からの放送でも知らせてほしい。家にいる人は絶対に聞くことができるので。放送によって改めて再確認できて、認識力も上がると思います。
- ・市民の多くは市政情報をそんなに必要と感じていないのではないか。選択肢の方法は、意識の高い方が能動的に利用しているのであって、その他多くの方は、これらの方法が拡充されても利用するようには思えない。NHKや民間放送のローカルニュースの後にでも、市政情報を入れるようにできたらよいのでは、と思う。
- ・西条市のメルマガは非常に面白いので参考にしてみてはいかがでしょうか。
- ・どんな方でも利用する場所に、告知物を掲示する等してはどうでしょうか。市民文化センターやあかがねミュージアムの催しなど。
- ・すでに、この質問の仕方に間違いがあると思う。

問12. 【市の広聴活動】に関してお伺いします。

市政モニターの活動を通じて、市政に対する理解や関心が高くなったと思いますか。(1つ選択)

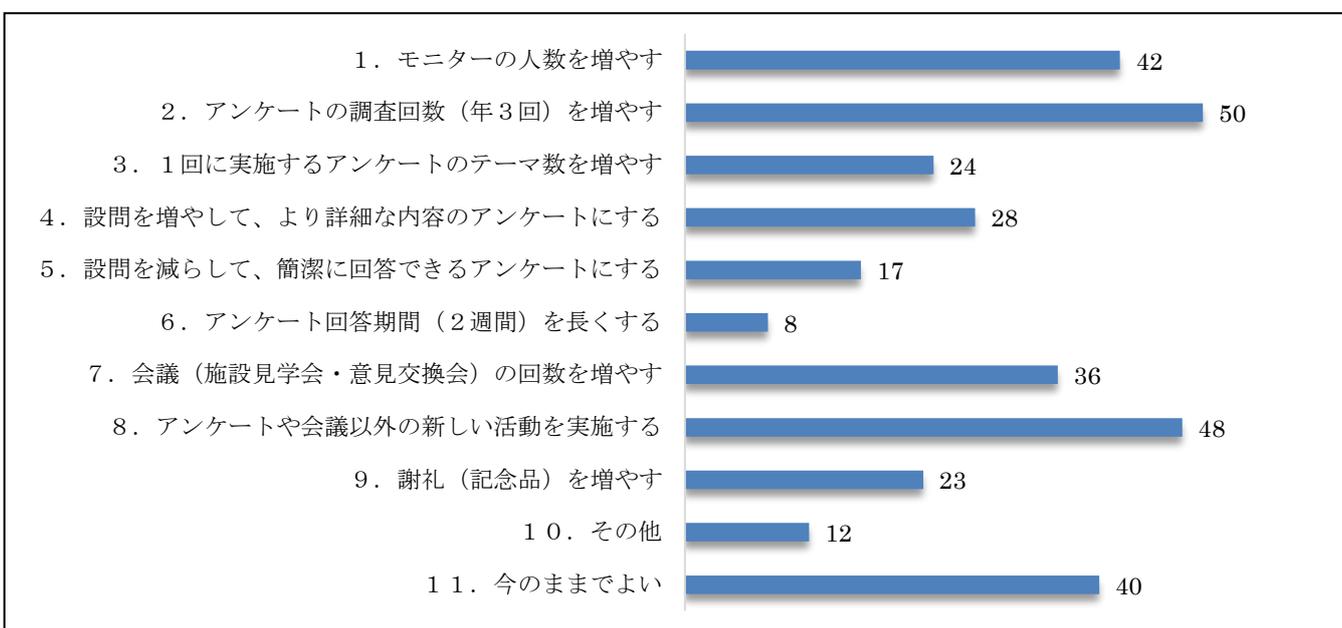
1. そう思う	68人
2. どちらかといえばそう思う	78人
3. どちらかといえばそう思わない	3人
4. そう思わない	4人
5. わからない	17人
無回答	2人
合計	172人



「2. どちらかといえばそう思う」(45.3%)と答えた方が最も多く、次いで「1. そう思う」(39.5%)、「5. わからない」(9.9%)、「4. そう思わない」(2.3%)、「3. どちらかといえばそう思わない」(1.7%)の順となっています。

問13. 市政モニター制度は、市民の声を市政に反映させるとともに、市民の市政への関心を高めることを目的として実施しています。さらに充実した制度にするために、どのような工夫や改善が必要だと思いますか。(複数選択)

1. モニターの人数を増やす	42 人
2. アンケート調査回数（年3回）を増やす	50 人
3. 1回に実施するアンケートのテーマ数を増やす	24 人
4. 設問を増やして、より詳細な内容のアンケートにする	28 人
5. 設問を減らして、簡潔に回答できるアンケートにする	17 人
6. アンケート回答期間（2週間）を長くする	8 人
7. 会議（施設見学会・意見交換会）の回数を増やす	36 人
8. アンケートや会議以外の新しい活動を実施する	48 人
9. 謝礼（記念品）を増やす	23 人
10. その他	12 人
11. 今のままでよい	40 人



「2. アンケートの調査回数（年3回）を増やす」（50人）、「8. アンケートや会議以外の新しい活動を実施する」（48人）、「1. モニターの人数を増やす」（42人）などが、市政モニター制度をさらに充実させるための工夫や改善点として多く挙げられています。

**問14. 問13で「10. その他」と答えた方にお伺いします。市政モニター制度をさらに充実させるために、必要だと思う工夫や改善点を教えてください。（自由記入）**

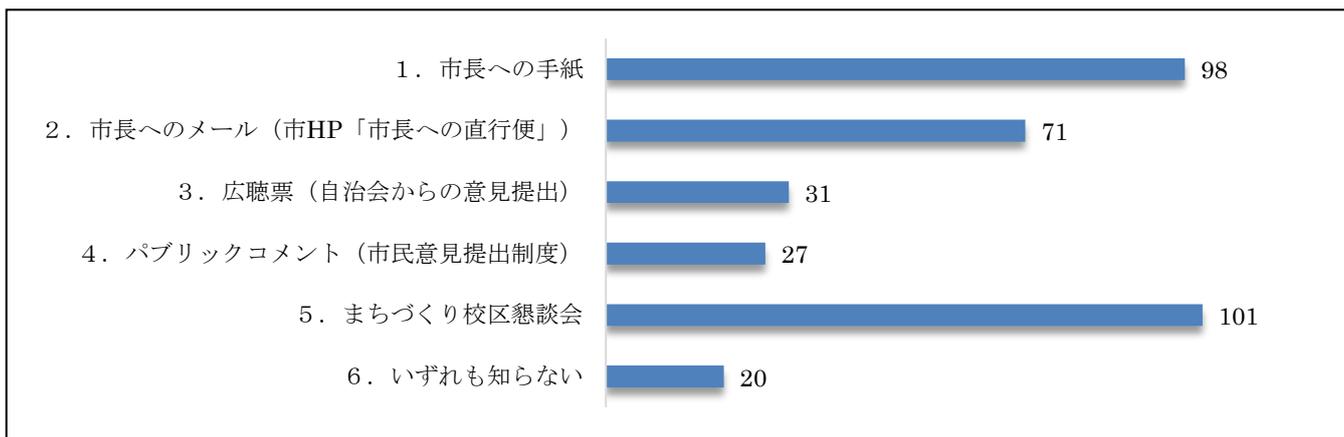
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・市政モニターを知らない人が多いので、活動内容などをもっとアピールすればいいと思います。
- ・モニター人数を増やす際に、年代別にモニターを設置するとよい。性別、年代ごとに何を課題としているのがよくわかり、対策が立てやすい。
- ・市政モニター会議に出席したことがありますが、平均年齢が少々高く感じました。もう少し幅広い年代の方に参加してもらえたらと思います。これからの新居浜のために若い人の意見も必要かと思います。
- ・老若男女問わず、幅広い世代の人になってもらうべき。

- ・若年層の市政モニターを増やして、若い時から市政に関心を持たせる。中高生を入れてもよいのでは。「同一の方は3回まで」等にして、なるべく多くの人に体験してもらう。
- ・私もその一人ですが、同じ方が何年も市政モニターをしていると聞きます。2～3年で入れ替えをすれば、多くの方が市政に対する関心を高められると思います。
- ・アンケートの結果や経緯がわからない。
- ・アンケート結果の対応を整理し、発信を希望します。
- ・設問の仕方を、もう少し工夫できたらと思います。
- ・アンケートは類似の質問には疲れます。活動は1～2日で終了するのが良いです。気力がついていけません。
- ・会議は土日に実施してほしい。勤労者は平日では参加が困難です。
- ・施設見学会など、平日が多いので参加しにくい。
- ・会合を複数回開催する（オンラインでもいい）等の双方向性が必要不可欠だろう。
- ・現在はアンケートに回答するだけ（それも必要だが）ですが、もっと積極的に市政に意見を言うようにできないでしょうか。例えば、空き家や空き地、ごみの不法投棄、ペットの飼い方や道路・街灯の問題等々、市政モニターが日頃から感じていることを市に対して意見するような。
- ・市が抱える問題を皆で考えると、観光に特化した会議を設けるとか、それぞれの市政モニターが強い分野で意見を聞くとか、どうでしょうか。
- ・市民にSDGsや地球温暖化防止などの社会問題について関心を持ってもらうための工夫が必要だと思います。
- ・若い時から市政に関心を持つよう、中高生対象の意見交換会を行う（例：学校で授業をする）。素直な意見が聞けると思う。
- ・各課の傍聴可能な会議のお知らせがメールなどで届けばいいなと思います。
- ・市政モニターに限らず、市民の声が市政に本当に反映されているとは言い難い。

問15. 市では、市政モニター制度以外にも、市民の声を市政に反映させるための広聴活動を実施しています。次の中で、あなたが知っているものはありますか。（複数選択）

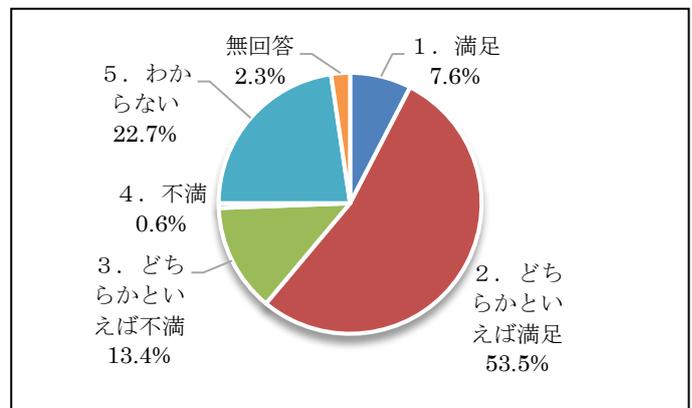
1. 市長への手紙	98人
2. 市長へのメール（市HP「市長への直行便」）	71人
3. 広聴票（自治会からの意見提出）	31人
4. パブリックコメント（市民意見提出制度）	27人
5. まちづくり校区懇談会	101人
6. いずれも知らない	20人



「5. まちづくり校区懇談会」(101人)、「1. 市長への手紙」(98人)、「2. 市長へのメール(市HP「市長への直行便」)」(71人)などが、市政モニター制度以外に知っている広聴活動として多く挙げられています。

**問16. 現在の新居浜市の広聴活動についてどう思いますか。(1つ選択)**

1. 満足	13人
2. どちらかといえば満足	92人
3. どちらかといえば不満	23人
4. 不満	1人
5. わからない	39人
無回答	4人
合計	172人



「2. どちらかといえば満足」(53.5%)と答えた方が最も多く、次いで「5. わからない」(22.7%)、「3. どちらかといえば不満」(13.4%)、「1. 満足」(7.6%)、「4. 不満」(0.6%)の順となっています。

**問17. その他、新居浜市の広報・広聴活動について、ご意見があればお聞かせください。(自由記入)**

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

**【広報について】**

- ・市政だよりに載っていないものが、ホームページに載っていたりする。市政だよりしか見ない者にとっては、知らない情報がある。高齢者は特にネット利用をしないので、なるべく公平に情報が行き渡るようにしてほしい。ホームページは見にくく、検索しても該当ページに行き着かない時もある。また、課ごとのイベント等に宣伝不足が多いと思う。
- ・小、中学生が広報を見て、理解できるページがほしい。社会の宿題に利用しています。祖父母とのコミュニケーションにもなりますので。
- ・私の両親はスマホ、パソコンを持っていません。ある一定以上の年齢の人は情報難民になるおそれもあると思います。色々な人がいるということで、広報の充実を願います。
- ・市政だよりではなく、地域のフリーペーパーを見てコロナの一時金などを知りました。
- ・高齢者の多い近年、スマホアプリ、ツイッター、フェイスブック等は高齢者には非常に理解しにくい。わかりやすい文章にしてほしい。
- ・市政だよりでわかりやすく知らせてくれるのは大変良いと思う。国のデジタル化推進を受け、メール等でのお知らせを進めるのも良いと思うが、まだスマホを持っていない人や使い方がよくわからない人も多いと思うので、その使用方法などを市政だよりで教えてくれたら助かると思う。
- ・広報媒体は市政だよりを筆頭に、ホームページ、CATV等現状で十分ではないでしょうか。ただ、どの媒体に何が収録されているのかが、市民にはわかりにくいのかもかもしれません。もし可能ならば、市政だよりに各媒体の主力情報の一覧表でも載せていただけると、助かる市民も少なくないのでは？
- ・新居浜いんふおは使い勝手が悪い。渡海船の時刻表はもっとわかりやすく、見やすくできる筈です。

- ・市からの行政放送が聞き取りにくく、改善されることを望みます。
- ・広報塔で呼びかけているのはとても良いことである。年配の方もよく聞いている。曜日ごとに流す音楽をかけて、毎日放送してもよいと思う。
- ・緊急放送を主としているため音が割れて聞き取りにくいし、窓を閉めていたり、暴風雨の時は放送が聞き取れない。放送設備を各家庭に有線で流す方法に切り替え、市の負担が大きいのであれば、希望者に少しの費用負担をさせて、切り替えてほしい。
- ・自治会の加入率が徐々に下がっているようですが、自治会も市の広報活動には大切な組織だと思います。市全体で、自治会の拡充の施策を打ち出してください。
- ・広報活動を自治会に丸投げしては目的達成できないだろうと痛切に感じる。本気度が足りない。
- ・広報にあまりお金をかけるのは得策ではなく、費用の圧縮が必要。
- ・たまにイオンなどで何かやっているような気がするが、何をやっているのかがあまりわからない。
- ・市長が表に出ない。もっと市民との接触を多く持つ、そして公表する、スピード感をもって市政を進めてほしいです。
- ・関心がある方、無い方と様々な人がいる中での広報活動の大変さはお察しします。関心が無い方への広報の工夫、困難ですが実現できたら理想的です。

#### 【広聴について】

- ・手間をかけることなく、広く意見を募ることが重要である。
- ・市長への手紙や広聴票は年間に何件届いていますか。ちょっとだけ気になります。
- ・市長への手紙、メールを知らませんでした。しかし、この手のものは大半がスルーされるイメージがあります。広報紙やホームページ等で回答いただけると、行政の透明化が図られますね。
- ・市長へのメールを送ったことがあります。市職員の挨拶ができていないことや、窓口でわからないからと長時間待たされたことについて、「市民のために働いている自覚はありますか」という内容でしたが、その後も特に変わっていないように思います。本当に読まれているのか？と思いました。
- ・まちづくり校区懇談会は形式的で、本当に疑問に思っていることや要望が議題にできない。
- ・市政モニター制度の効果がよく見えない。活動の報告書はそれなりにできているが。
- ・広報広聴アンケート等を実施した結果、「こうしていく」等の報告を明確に表してほしいです。
- ・聴取した市民の声、意見や関心などをまとめたものは年度末に報告されますが、市政モニター以外の市民も関心があるのではないのでしょうか。市政だよりなどで報告しては。
- ・このモニターアンケートの結果について、市政だより等の媒体を使って市民に知らせ、実施できることから実施すれば良い。
- ・嘘か本当か、結局市議会議員からの要望でないと早めに検討などしてくれないとも聞きました。もしそうなら、広聴活動をしている意味はないのでは？
- ・今回、市政モニターに参加し、アンケート以外で「市にこうして欲しい」との要望を出しました。いずれも対応する課の方から丁寧に返信があり、大変有り難く嬉しく思いました。色んな意見があり、あちらを立てればこちらが立たず、ということは往々にしてあると思いますが、長いものには巻かれず、市長はじめ市職員の方々には、将来を見据えた働きを望みます。
- ・今年は新型コロナウイルス感染防止のため、施設見学会の人数は少人数になったのが残念でした。まだしばらくはコロナ対策をしながらの広報・広聴活動になると思いますので、色々と工夫をしながら活動してほしいと思います。

<まとめ>

今回のアンケートでは172人（20代：1人、30代：26人、40代：35人、50代：29人、60代：34人、70代：46人、80歳以上：1人）の皆さんに回答をいただきました。

まず、市の広報活動に関しては、行政情報を得る手段として最も活用されているのは「市政だより」であり、全体の9割近くの方が市政だよりを「読む」と回答されていました。市政だよりの改善点や要望としては、「文章を簡潔にわかりやすくする」「特集記事を増やす」「市民が登場するコーナーを増やす」等が多くなっており、自由記入欄のご意見を見ても、簡潔で老若男女にわかりやすい広報紙が求められていることがわかりました。

一方、ホームページやメールマガジン、公式SNSやスマートフォンアプリ「新居浜いんふお」等のインターネットを活用した広報媒体については、「利用・視聴したことがある」と答えた方の割合に比して、実際に行政情報を得る手段として活用している方は少ない、という結果となっており、いまだ広報ツールとしては旧来からのメディアが主なものとなっているという現状が伺えました。

次に、市の広聴活動に関しては、まずは実際に市政モニター活動にご協力いただいている皆さんに、活動に参加した所感や制度の改善点を伺いました。活動を通じて市政への理解関心が「高くなった」「どちらかといえば高くなった」と答えた方は全体の8割以上、制度の改善点としては「アンケートの調査回数を増やす」「アンケートや会議以外の新しい活動を実施する」「モニターの人数を増やす」等が多く挙げられていました。

市政モニター以外の広聴活動としては、「市長への手紙」や「まちづくり校区懇談会」等の認知度は比較的高いものの、「いずれも知らない」との回答も全体の1割程度ですが見られ、制度の充実とともに市民の皆さんへのさらなる周知が必要であることがわかりました。

また自由記入欄では、若年層からの意見集約の仕組みを求める意見や、聴取した意見の内容・市政への反映結果等を明確に示してほしいとの意見も見られました。

広報・広聴は住民と行政をつなぐコミュニケーションツールであり、すべての世代にとってわかりやすく身近なものであるとともに、時代に合わせた変革が求められます。今回のアンケート結果は貴重な参考資料として、今後の制度運営に生かしてまいりたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

(担当課：秘書広報課)



©NPO 法人新居浜まちゆり隊